

平成25年度 県内市町村普通会計決算の概要

平成25年度の県内市町村の財政状況をお知らせします。

※今回の概要については、国の全国的な調査である「地方財政状況調査」の結果に基づき速報値としてとりまとめたものであり、数値については、今後変動する場合があります。

なお、国の全国集計の確定値をもとに、各市町村の財政指標や全国順位を、来年1月頃に確定版として公表する予定です。

I 平成25年度県内市町村普通会計決算の全体像

3年連続で県内全市町村が黒字決算

別紙1

○平成23年度に全団体が赤字決算から脱却。以降、平成25年度まで3年連続で全団体が黒字決算となった。

○県内各市町村の決算規模は別紙1のとおり。

経常収支比率（市町村平均）は2年連続で改善し93.3%

別紙2

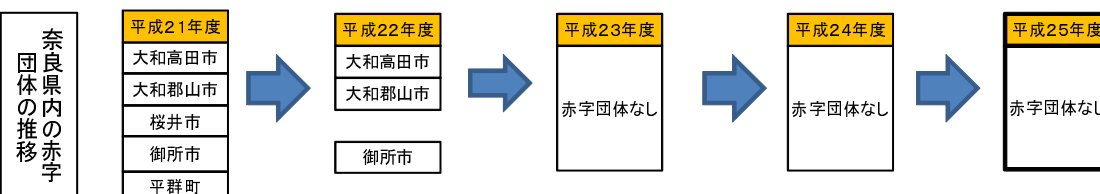
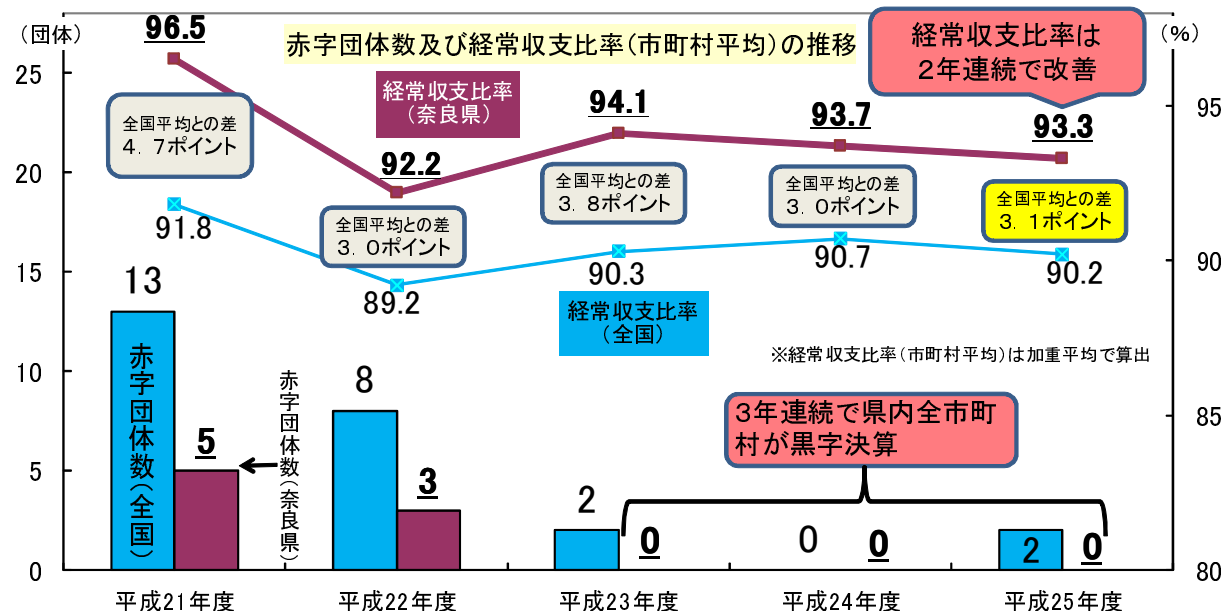
○2年連続で改善し、前年度と比較すると0.4ポイント改善。

○全国平均が0.5ポイント改善したことから、依然として全国平均を上回っている状況。

○県内市町村の経常収支比率（市町村平均）改善のためには、決算規模の大きい各市の経常収支比率の改善が特に重要。

※参考：平成25年度経常収支比率の段階別団体数

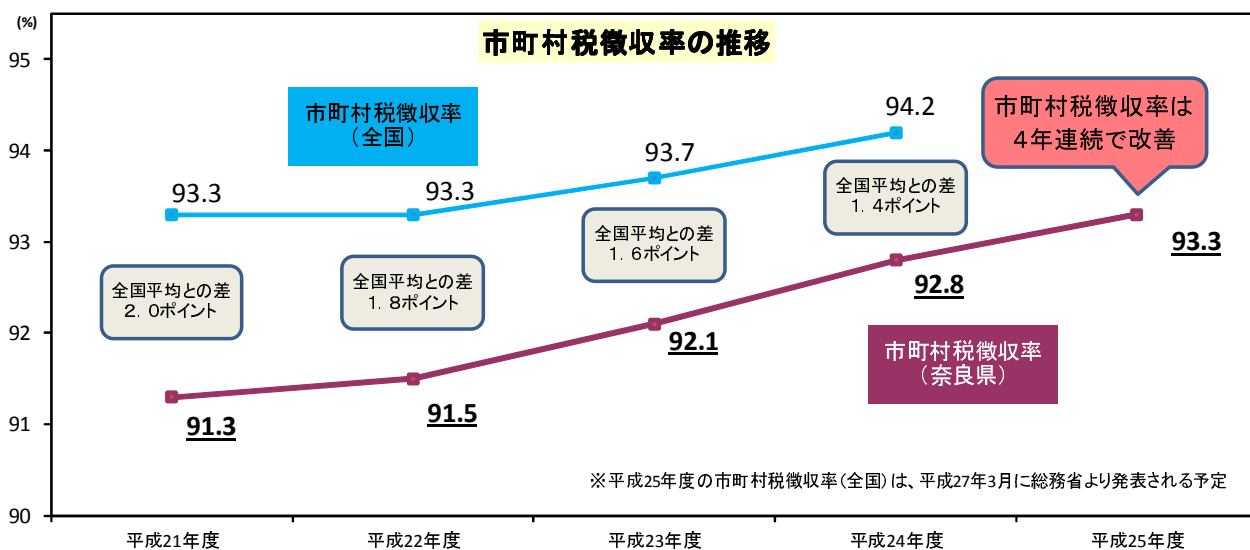
区分	80%未満	80%以上90%未満	90%以上100%未満	100%以上
全国	244 14.2%	941 54.7%	515 30.0%	19 1.1%
奈良県	5 12.8%	12 30.8%	20 51.3%	2 5.1%
うち県内市		香芝市、生駒市、葛城市(3市、25.0%)	桜井市、奈良市、宇陀市、大和高田市、橿原市、五條市、大和郡山市(7市、58.3%)	御所市、天理市(2市、16.7%)



市町村税徴収率(市町村平均)は4年連続で改善し93.3%

別紙3

○4年連続で改善し、前年度と比較すると0.5ポイント改善。



Ⅱ 平成25年度県内市町村普通会計決算(県内各市町村の状況)

(1) 経常収支比率

① 県内各市町村の経常収支比率の対前年度比較

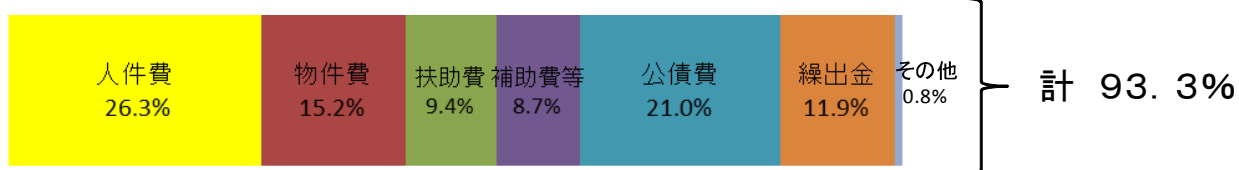
別紙4

- 前年度より改善した団体数は20、悪化した団体数は19。
- 前年度と比較して人件費や公債費などが減少した山添村、十津川村の改善ポイントが大きく、人件費や物件費などが増加した野迫川村、物件費や扶助費などが増加した御所市の悪化ポイントが大きい。

② 県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳とその対前年度増減

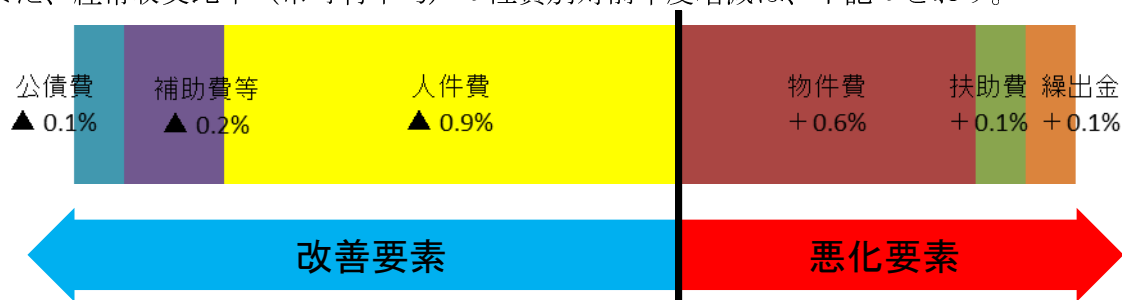
別紙5-1~6

- 平成25年度の経常収支比率(市町村平均)は93.3%であるが、性質別では下記のように算出され、人件費と公債費で計47.3%と、全体の約半分を占めている。



- 県内各市町村のそれぞれの経常収支比率の性質別内訳は、別紙5-2のとおり。

- また、経常収支比率(市町村平均)の性質別対前年度増減は、下記のとおり。



- 県内各市町村のそれぞれの経常収支比率の性質別対前年度増減は別紙5-4のとおり。

- 経常収支比率が改善した多くの市町村で人件費や公債費の比率が改善していることから、これら経費の削減が特に重要。

③県内各市町村の経常収支比率の分布状況

別紙 6-1

○財政の硬直度が低い経常収支比率85%未満の団体は上北山村、野迫川村など7団体。このうち平野部は川西町のみで、残り6団体は南部地域。

④県内各市町村の経常収支比率の分布状況（前年度比較）

別紙 6-2

○前年度と比較した改善状況に地域的な偏在はなく、各団体それぞれの歳出削減に向けた努力が結実するもの。

⑤県内各市町村の経常収支比率の健康診断表

別紙 7

○県内各市町村の経常収支比率を全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。
○「要治療」領域に属する22団体のうち、宇陀市など11団体が前年度よりも改善し、御所市など11団体が前年度よりも悪化。「健康」領域に属する17団体のうち、山添村など9団体が前年度よりも改善し、野迫川村など8団体が悪化。

⑥県内各市・町・村別経常収支比率順位の推移

別紙 8-1～3

○市では、葛城市は1位を継続。大和高田市は平成25年度では低下したものの上昇傾向。御所市は上昇傾向であったが平成25年度は大きく順位が低下。
○町では、川西町が過去3ヶ年度1位。三宅町は過去5ヶ年度上昇傾向。下市町は平成23年度から低下傾向。
○村では上北山村、下北山村の上昇傾向が顕著。東吉野村は低下傾向。

（2）市町村税徴収率

①県内各市町村の市町村税徴収率にかかる現年課税分・滞納繰越分別徴収率の対前年マトリクス

別紙 9

○県内各市町村の市町村税徴収率を、現年課税分徴収率と滞納繰越分徴収率の対前年度増減で区分し整理。
○現年課税分徴収率が前年度より改善した団体は37団体で、このうち滞納繰越分徴収率が前年度より改善した団体は22団体、前年度より悪化した団体は15団体。
○現年課税分徴収率が前年度より悪化した団体は2団体で、ともに滞納繰越分徴収率が前年度より悪化。

②県内各市町村の市町村税徴収率の分布状況

別紙 10

○徴収率分布地図で整理すると、南部地域の徴収率に良い傾向が見受けられる。

③県内各市町村の市町村税徴収率の健康診断表

別紙 11

○県内各市町村の市町村税徴収率を全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。
○「要治療」領域に属する20団体のうち、下市町など16団体が前年度よりも改善し、上牧町など2団体が前年度よりも悪化。「健康」領域に属する19団体のうち、御杖村など14団体が前年度よりも改善し、下北山村など3団体が悪化。

④県内各市・町・村別市町村税徴収率順位の推移

別紙 12-1～3

○市では桜井市が過去3ヶ年度1位。宇陀市が過去4ヶ年度最下位。五條市の上昇傾向が顕著。
○町では王寺町が過去5ヶ年度1位。広陵町の上昇傾向が顕著。三郷町、上牧町が低下傾向。
○村では下北山村が過去5ヶ年度1位。御杖村、天川村、東吉野村の上昇傾向が顕著。

Ⅲ 市町村財政の更なる健全化に向けた県の支援

- 県は、当面の目標としている経常収支比率（市町村平均）全国ワースト10位からの脱却をできるだけ早期に達成できるよう、財政健全化に向けた市町村支援のための取組を積極的に推進。
- 平成26年度は、特に公債費負担の軽減のため当初予算で新たに「奈良県市町村財政健全化支援事業」を制度化。各市町村の制度活用要望をふまえ9月議会でも予算を追加し既発行の高金利地方債の繰上償還を積極的に支援。

・平成26年度当初予算額：	15億円
・平成26年度9月補正予算額：	31億8千万円
計	46億8千万円

平成25年度 県内市町村普通会計決算の概要（別紙資料一覧）

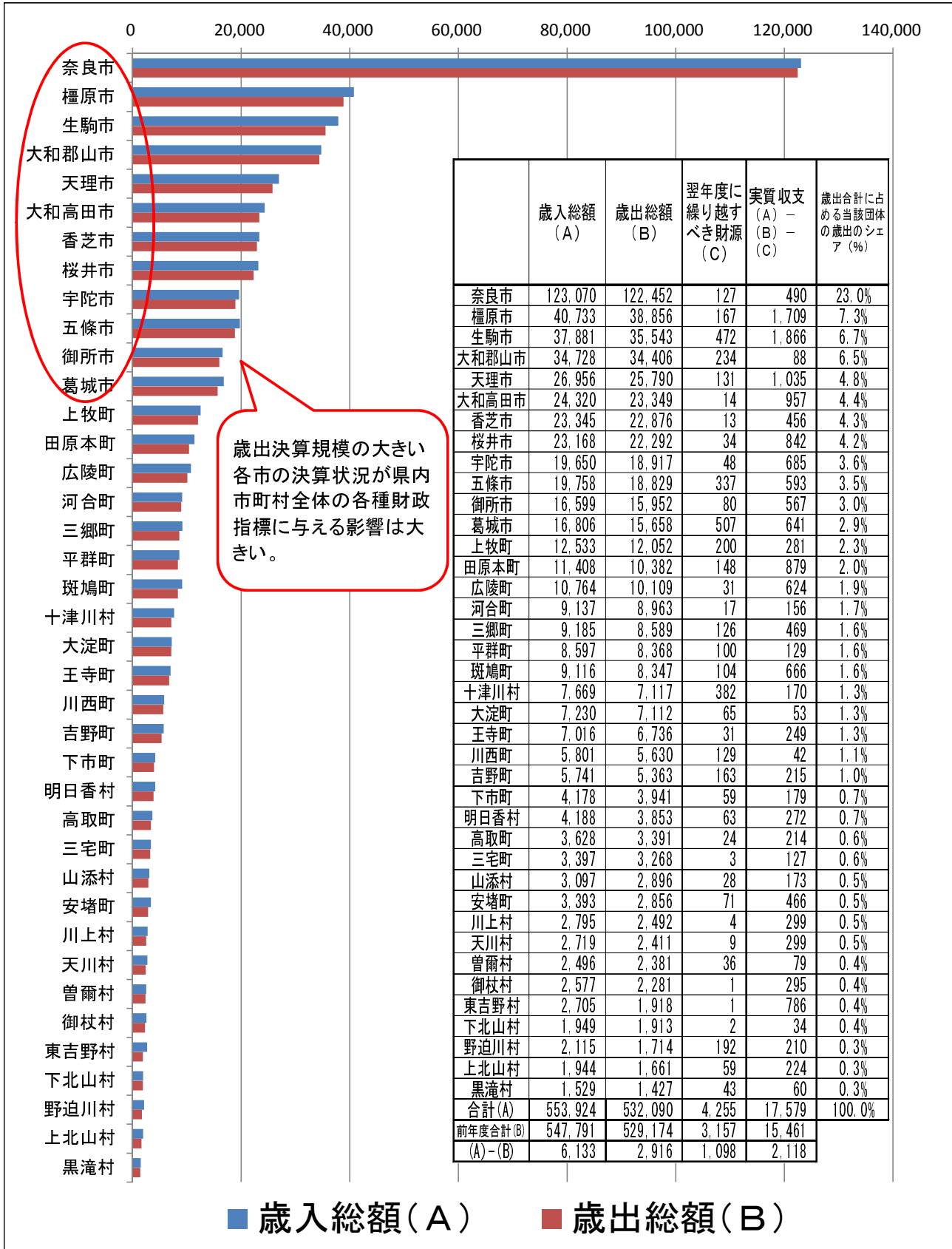
別紙 1	県内各市町村の平成25年度決算規模
別紙 2	県内各市町村の経常収支比率
別紙 3	県内各市町村の市町村税徴収率
別紙 4	県内各市町村の経常収支比率の対前年度比較
別紙 5-1	県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳及び対前年度増減
別紙 5-2	県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳
別紙 5-3	県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳（うち人件費、公債費の占める割合）
別紙 5-4	県内各市町村の経常収支比率の性質別対前年度増減
別紙 5-5	県内各市町村の経常収支比率のうち人件費にかかる対前年度増減ポイント
別紙 5-6	県内各市町村の経常収支比率のうち公債費にかかる対前年度増減ポイント
別紙 6-1	県内各市町村の経常収支比率の分布状況
別紙 6-2	県内各市町村の経常収支比率の分布状況（前年度比較）
別紙 7	県内各市町村の経常収支比率の健康診断表
別紙 8-1	県内12市の経常収支比率順位の推移（過去5ヶ年度分）
別紙 8-2	県内15町の経常収支比率順位の推移（過去5ヶ年度分）
別紙 8-3	県内12村の経常収支比率順位の推移（過去5ヶ年度分）
別紙 9	県内各市町村の市町村税徴収率にかかる現年課税分・滞納繰越分別徴収率の対前年マトリクス
別紙 10	県内各市町村の市町村税徴収率の分布状況
別紙 11	県内各市町村の市町村税徴収率の健康診断表
別紙 12-1	県内12市の市町村税徴収率順位の推移（過去5ヶ年度分）
別紙 12-2	県内15町の市町村税徴収率順位の推移（過去5ヶ年度分）
別紙 12-3	県内12村の市町村税徴収率順位の推移（過去5ヶ年度分）

県内各市町村の平成25年度決算規模

別紙1

- 歳入総額は5,539億円となり、前年度を61億円上回った。
- 歳出総額は5,321億円となり、前年度を29億円上回った。
- 歳出決算額が県内市町村歳出決算額合計の約23%を占める奈良市をはじめ、歳出決算規模の大きい各市の決算状況が県内市町村全体の各種財政指標に与える影響は大きい。

(単位：百万円)



県内各市町村の経常収支比率

別紙2

○経常収支比率(市町村平均)は2年連続で改善し、前年度と比較すると0.4ポイント改善。
 ○全国平均が0.5ポイント改善したことから、依然として全国平均を上回っている状況。

(単位:%)

健康状態	25年度				24年度		
	ワースト順位	市町村名	経常収支比率(A)	対前年度改善ポイント(A-B)	ワースト順位	市町村名	経常収支比率(B)
要治療 全国平均以上	1 ↑	御 所 市	101.3	5.3	1	天 理 市	100.5
	2 ↓	天 理 市	100.6	0.1	2	桜 井 市	98.8
	3 ↑	下 市 町	98.8	2.2	3	河 合 町	98.7
	4 ↓	桜 井 市	98.7	▲ 0.1	4	明 日 香 村	98.5
	5 →	奈 良 市	97.5	▲ 0.1	5	奈 良 市	97.6
	6 ↓	明 日 香 村	97.0	▲ 1.5	6	下 市 町	96.6
	6 ↑	吉 野 町	97.0	1.5	7	宇 陀 市	96.5
	8 ↓	河 合 町	96.1	▲ 2.6	8	山 添 村	96.2
	9 ↑	平 群 町	95.6	0.3	9	御 所 市	96.0
	10 ↑	斑 鳩 町	95.2	▲ 0.1	10	檀 原 市	95.5
	11 ↑	黒 滝 村	95.1	1.8	10	吉 野 町	95.5
	12 ↓	宇 陀 市	94.2	▲ 2.3	12	平 群 町	95.3
	12 ↑	広 陵 町	94.2	1.1	12	斑 鳩 町	95.3
	14 →	大 和 高 田 市	93.9	▲ 0.9	14	大 和 高 田 市	94.8
	15 ↓	檀 原 市	93.8	▲ 1.7	15	黒 滝 村	93.3
	16 ↑	王 寺 町	93.6	0.7	16	広 陵 町	93.1
	17 ↑	五 條 市	93.4	1.7	17	王 寺 町	92.9
	18 ↑	高 取 町	92.7	0.6	18	曾 爾 村	92.2
	19 ↑	上 牧 町	91.4	1.5	19	大 和 郡 山 市	92.1
	20 ↓	大 和 郡 山 市	91.0	▲ 1.1	19	高 取 町	92.1
	21 ↑	安 堵 町	90.5	▲ 0.8	21	五 條 市	91.7
	22 ↓	曾 爾 村	90.4	▲ 1.8	22	安 堵 町	91.3
健康 全国平均未満	23 ↑	東 吉 野 村	89.9	0.2	23	三 郷 町	91.0
	24 ↑	田 原 本 町	89.8	0.3	24	上 牧 町	89.9
	25 ↑	大 淀 町	89.1	1.9	25	香 芝 市	89.7
	26 ↓	山 添 村	89.0	▲ 7.2	25	東 吉 野 村	89.7
	27 ↓	三 郷 町	87.9	▲ 3.1	27	田 原 本 町	89.5
	28 ↓	香 芝 市	87.7	▲ 2.0	28	生 駒 市	89.2
	29 ↑	御 杖 村	87.6	1.6	29	三 宅 町	88.6
	30 ↓	三 宅 町	87.5	▲ 1.1	30	大 淀 町	87.2
	31 ↓	生 駒 市	85.8	▲ 3.4	31	葛 城 市	86.1
	32 ↓	葛 城 市	85.7	▲ 0.4	32	御 杖 村	86.0
	33 ↑	川 西 町	83.3	1.9	33	天 川 村	81.9
	34 ↓	天 川 村	82.5	0.6	34	川 西 町	81.4
	35 ↑	下 北 山 村	78.4	▲ 2.0	35	十 津 川 村	81.0
	36 ↑	川 上 村	77.3	▲ 1.4	36	下 北 山 村	80.4
	37 ↓	十 津 川 村	76.9	▲ 4.1	37	川 上 村	78.7
	38 →	野 迫 川 村	76.2	7.4	38	野 迫 川 村	68.8
	39 →	上 北 山 村	70.3	2.5	39	上 北 山 村	67.8
		県 平 均	93.3	▲ 0.4		県 平 均	93.7
		全 国 平 均	90.2	▲ 0.5		全 国 平 均	90.7

(注) 経常収支比率の平均は加重平均で算出。なお、全国平均には特別区は含まれていません。

県内各市町村の市町村税徴収率

別紙3

(単位：%)

平成21年度 [全国：33位]		平成22年度 [全国：31位]		平成23年度 [全国：30位]		平成24年度 [全国：28位]		平成25年度 [全国：-位]	
下北山村	99.3	下北山村	99.1	下北山村	98.8	王寺町	98.5	王寺町	98.8
明日香村	98.8	上北山村	98.7	山添村	98.4	下北山村	98.4	三宅町	98.6
上北山村	98.5	明日香村	98.2	王寺町	98.4	山添村	98.2	山添村	98.1
王寺町	98.1	王寺町	98.1	上北山村	98.3	上北山村	98.1	下北山村	98.1
山添村	97.3	山添村	97.8	明日香村	97.8	三宅町	98.0	上北山村	98.1
川上村	96.5	川上村	96.5	黒滝村	96.8	黒滝村	97.5	黒滝村	97.9
十津川村	96.1	黒滝村	96.3	三宅町	96.5	明日香村	97.3	平群町	97.4
黒滝村	95.9	野迫川村	95.9	川上村	96.1	平群町	96.8	明日香村	97.1
川西町	95.5	十津川村	95.6	斑鳩町	95.5	川西町	96.0	桜井市	96.8
斑鳩町	95.3	斑鳩町	95.5	川西町	95.3	川上村	95.8	川西町	96.2
高取町	94.9	川西町	94.9	河合町	95.2	斑鳩町	95.6	広陵町	96.2
河合町	93.9	三宅町	94.3	十津川村	95.0	桜井市	95.5	東吉野村	96.2
吉野町	93.5	河合町	94.3	広陵町	94.6	河合町	95.3	斑鳩町	96.0
広陵町	93.3	高取町	94.2	高取町	94.2	広陵町	95.2	川上村	95.8
全国平均	93.3	広陵町	93.7	桜井市	94.0	東吉野村	94.9	河合町	95.4
三宅町	93.2	全国平均	93.3	全国平均	93.7	十津川村	94.2	高取町	95.0
御杖村	93.2	御杖村	93.1	吉野町	93.6	全国平均	94.2	吉野町	94.9
橿原市	93.0	天川村	93.0	東吉野村	93.6	高取町	94.1	御杖村	94.7
天川村	92.9	橿原市	92.9	野迫川村	93.4	吉野町	94.0	十津川村	94.5
葛城市	92.3	葛城市	92.9	大和郡山市	93.3	大和郡山市	93.2	五條市	94.1
大和郡山市	92.1	大和郡山市	92.7	葛城市	93.2	橿原市	93.2	田原本町	94.1
三郷町	92.0	吉野町	92.7	橿原市	93.0	葛城市	93.2	天川村	94.0
桜井市	91.7	桜井市	92.0	香芝市	92.7	御杖村	93.2	橿原市	93.7
香芝市	91.6	香芝市	92.0	御杖村	92.5	香芝市	93.1	香芝市	93.7
安堵町	91.6	県平均	91.5	五條市	92.3	田原本町	93.1	大和郡山市	93.4
天理市	91.3	東吉野村	91.2	天川村	92.3	五條市	92.9	葛城市	93.3
五條市	91.3	三郷町	91.1	県平均	92.1	曾爾村	92.9	奈良県平均	93.3
県平均	91.3	五條市	91.0	田原本町	92.1	県平均	92.8	曾爾村	93.2
下市町	91.0	安堵町	91.0	曾爾村	92.0	御所市	92.6	御所市	92.8
奈良市	90.9	奈良市	90.9	御所市	91.6	奈良市	92.2	奈良市	92.7
野迫川村	90.8	天理市	90.8	天理市	91.4	野迫川村	92.2	大淀町	92.6
大淀町	90.6	大淀町	90.8	奈良市	91.3	大淀町	92.0	野迫川村	92.2
田原本町	90.2	上牧町	90.7	大和高田市	91.2	天川村	91.9	天理市	92.1
生駒市	89.8	御所市	90.5	大淀町	91.0	天理市	91.8	大和高田市	91.9
上牧町	89.8	田原本町	90.2	上牧町	90.9	安堵町	91.5	生駒市	91.9
東吉野村	89.3	下市町	90.2	生駒市	90.7	上牧町	91.5	宇陀市	91.8
大和高田市	88.9	生駒市	90.1	安堵町	90.6	大和高田市	91.4	安堵町	91.5
宇陀市	88.0	大和高田市	89.9	三郷町	90.4	生駒市	91.4	下市町	90.9
曾爾村	88.0	曾爾村	89.6	宇陀市	90.2	宇陀市	91.1	上牧町	90.8
御所市	85.6	宇陀市	88.6	下市町	89.5	三郷町	90.1	三郷町	89.7
平群町	84.9	平群町	85.6	平群町	86.0	下市町	88.8	全国平均	-

※平成25年度の市町村税徴収率（全国）平均は、平成27年3月に総務省より発表される予定

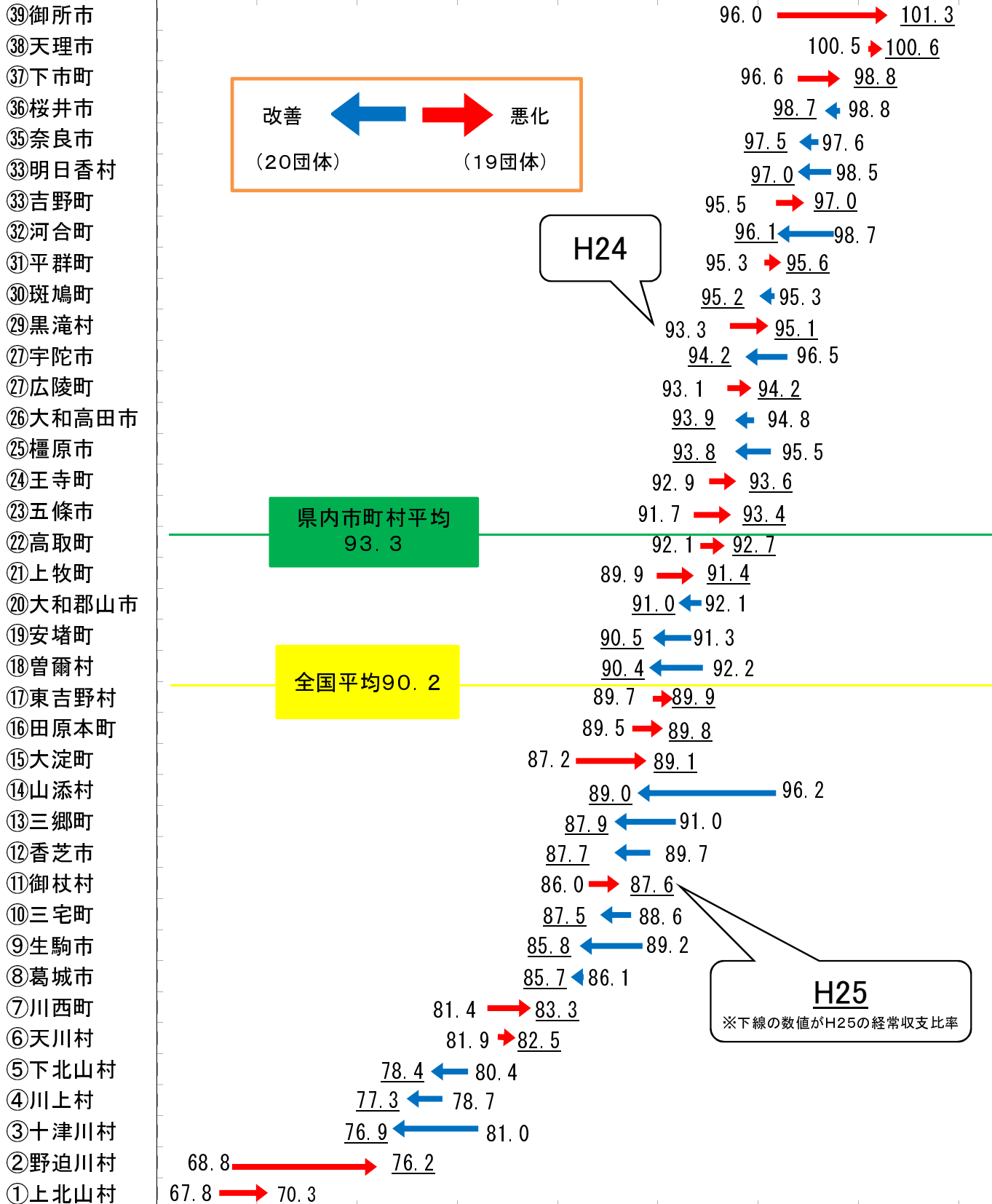
県内各市町村の経常収支比率の対前年度比較

別紙4

○前年度より改善した団体数は20、悪化した団体数は19。
 ○前年度と比較して人件費や公債費などが減少した山添村、十津川村の改善ポイントが大きく、人件費や物件費などが増加した野迫川村、物件費や扶助費などが増加した御所市の悪化ポイントが大きい。



※○内の数字は、県内順位

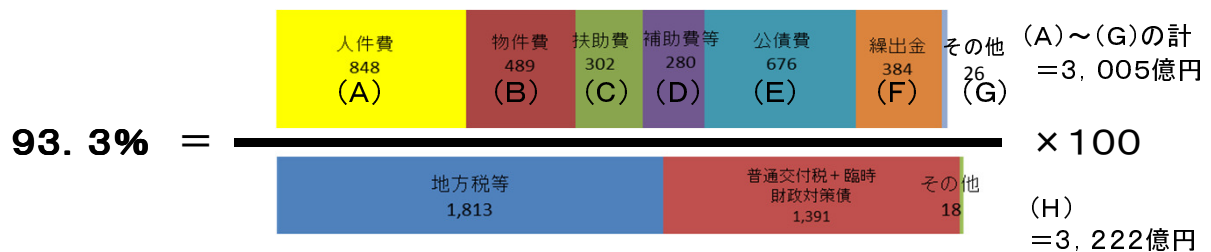


経常収支比率とは、地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合のことで、下記により算出。

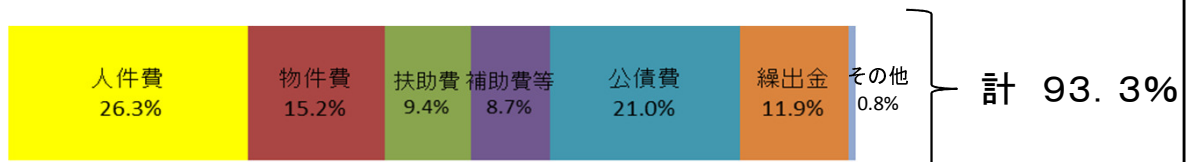
$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{人件費、扶助費、公債費等に充当した一般財源}}{\text{経常一般財源(地方税+普通交付税等)+減税補てん債+臨時財政対策債}} \times 100$$

平成25年度の経常収支比率(県内市町村平均)は以下のとおり算出。

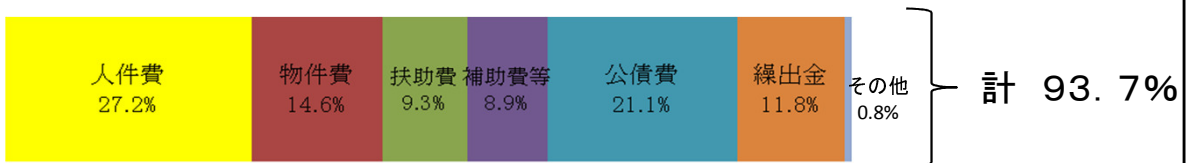
(単位:億円)



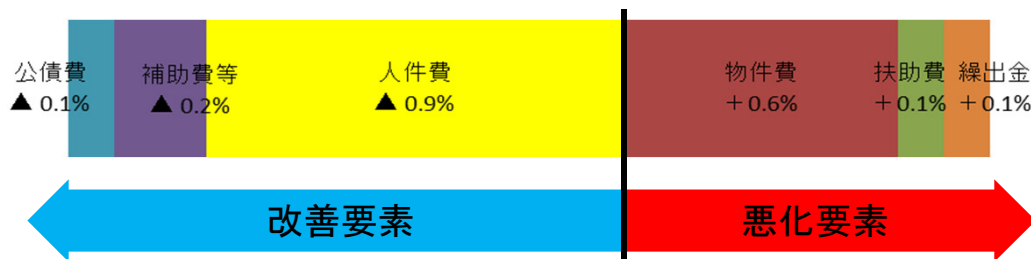
平成25年度の経常収支比率(市町村平均)は93.3%で、上記(A)~(G)それぞれを(H)で割ると、それぞれの性質毎の経費にかかる経常収支比率が算出。



一方、平成24年度決算では、以下のとおり。



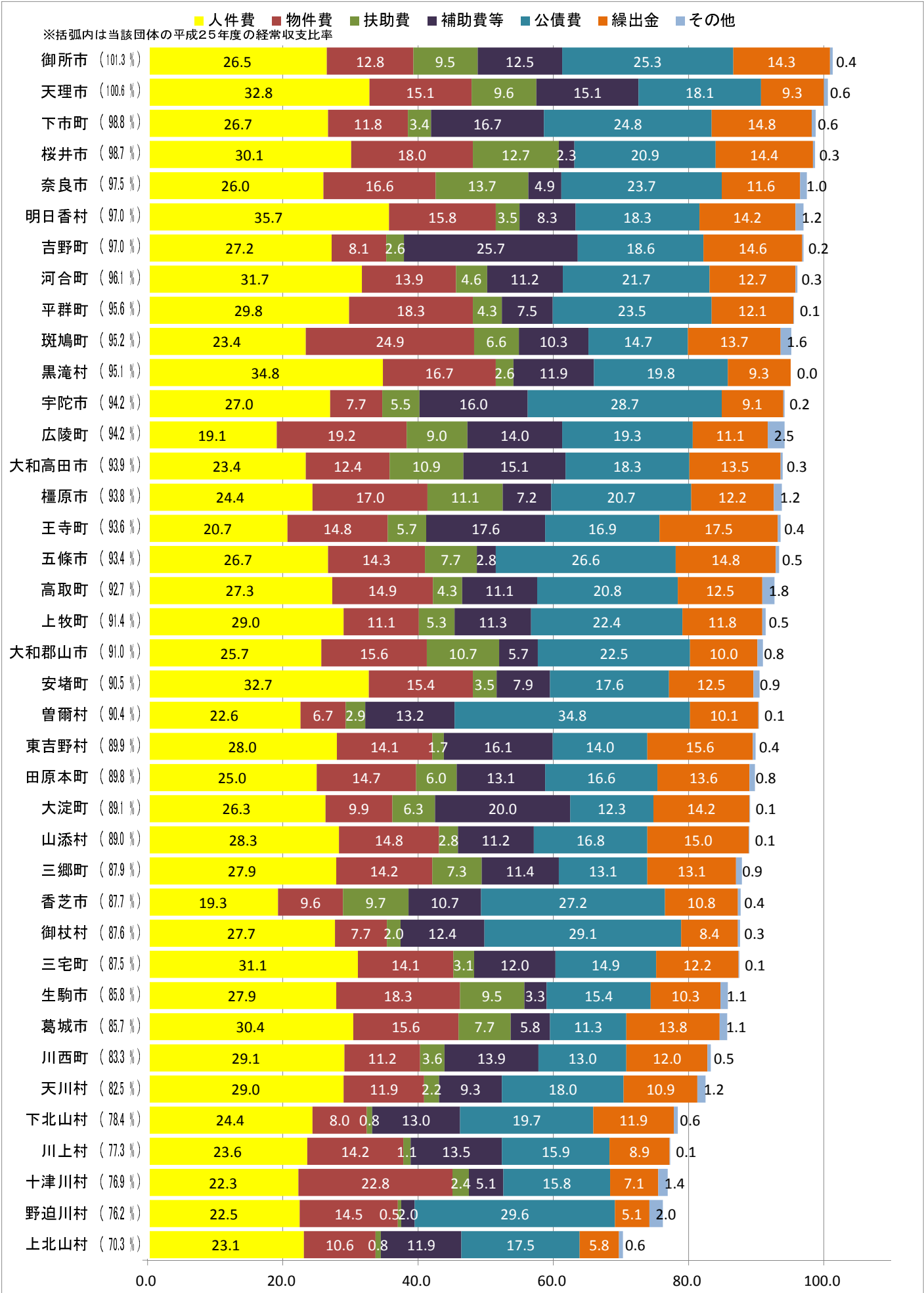
平成25年度と平成24年度を比較すると、改善要因は人件費、悪化要因では物件費が大きくなっている。改善要因が計1.2%、悪化要因が計0.8%であったことから、平成25年度決算では0.4ポイント改善。



県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳は別紙5-2、対前年度増減は別紙5-4のとおり。

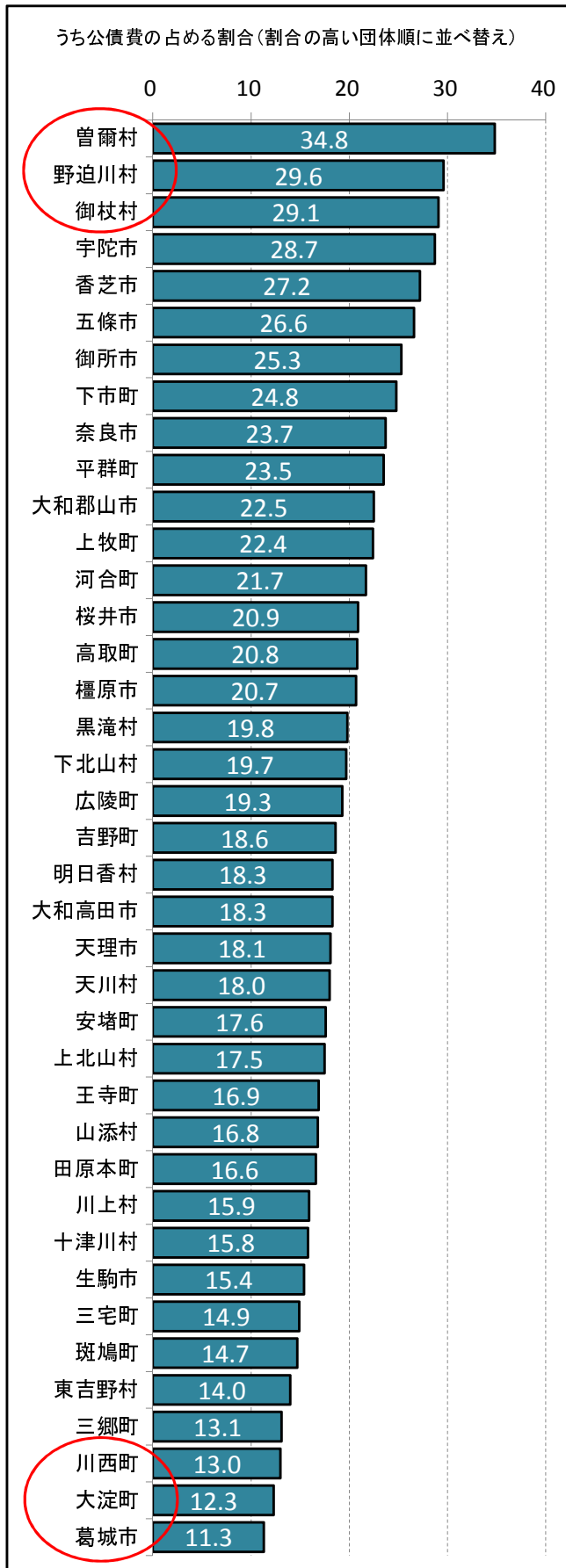
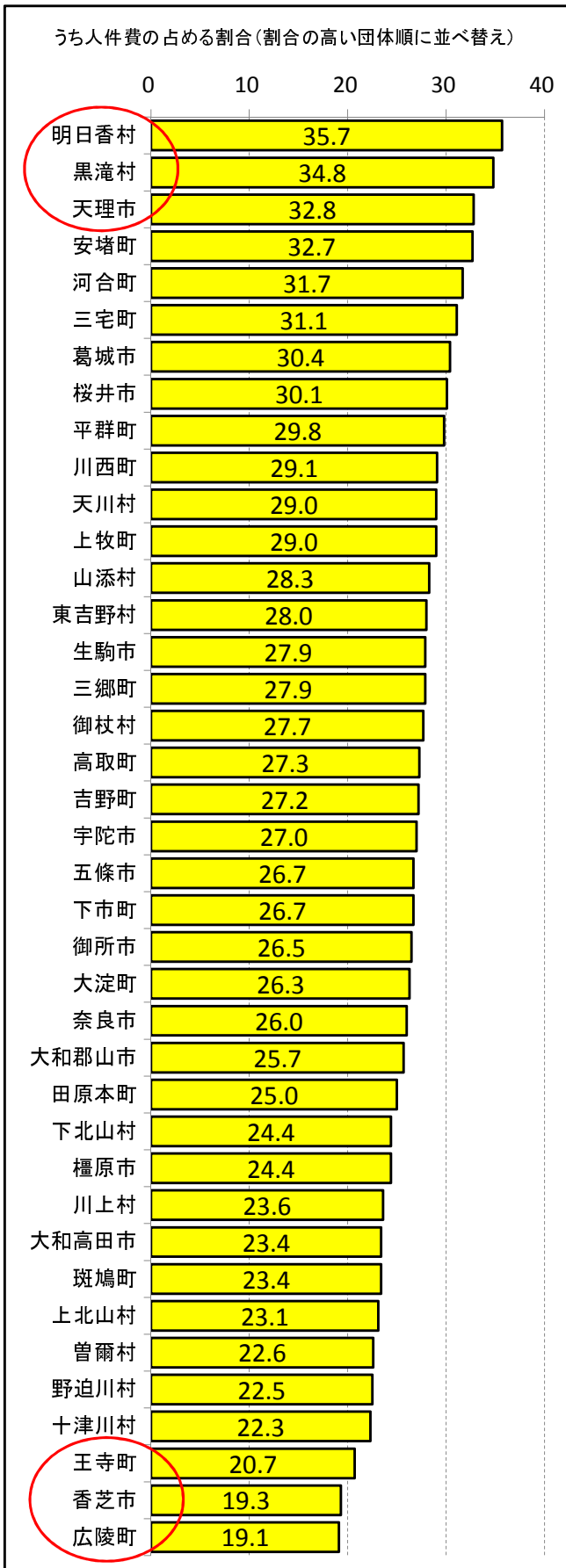
県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳

別紙 5-2

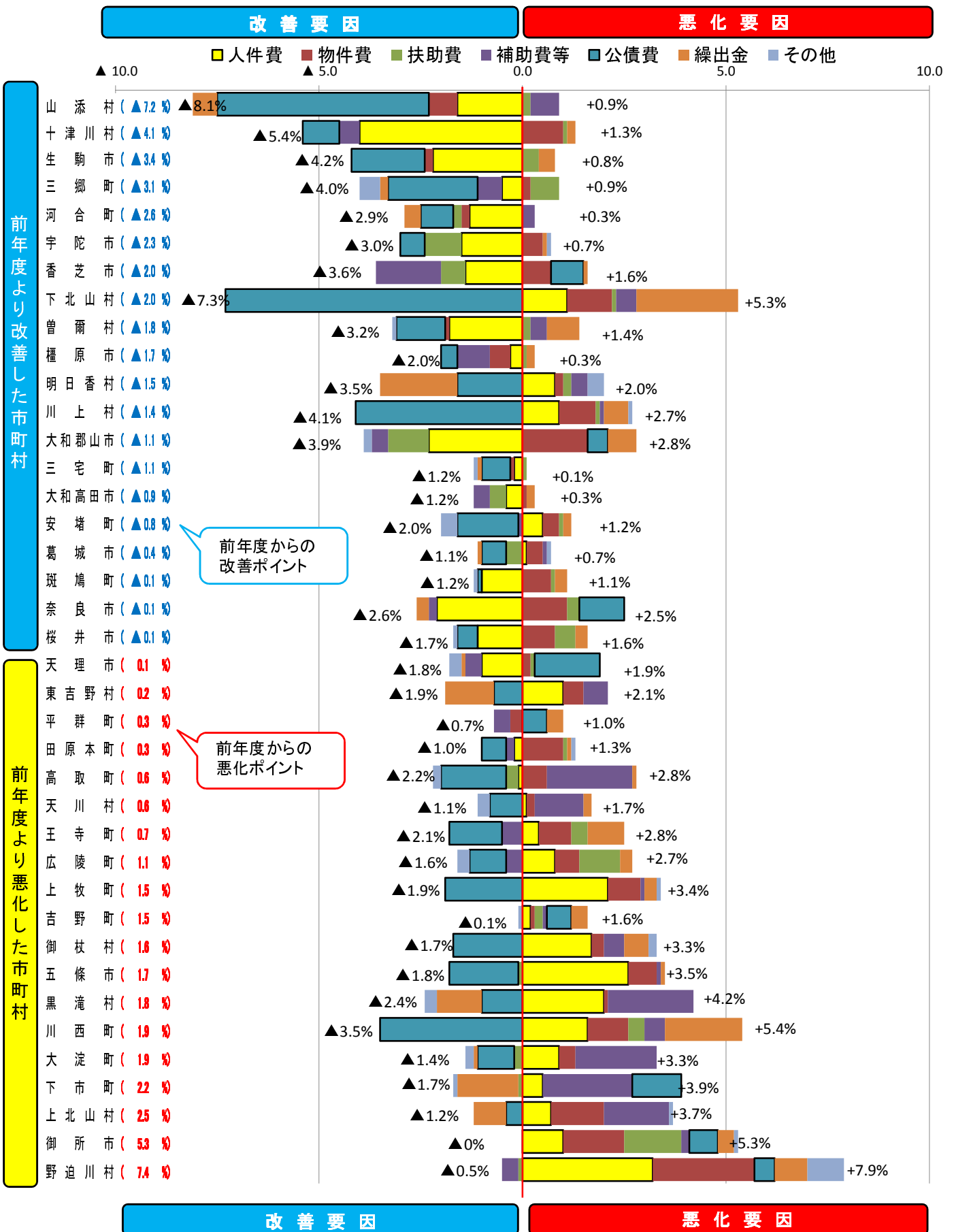


県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳(うち人件費、公債費の占める割合)

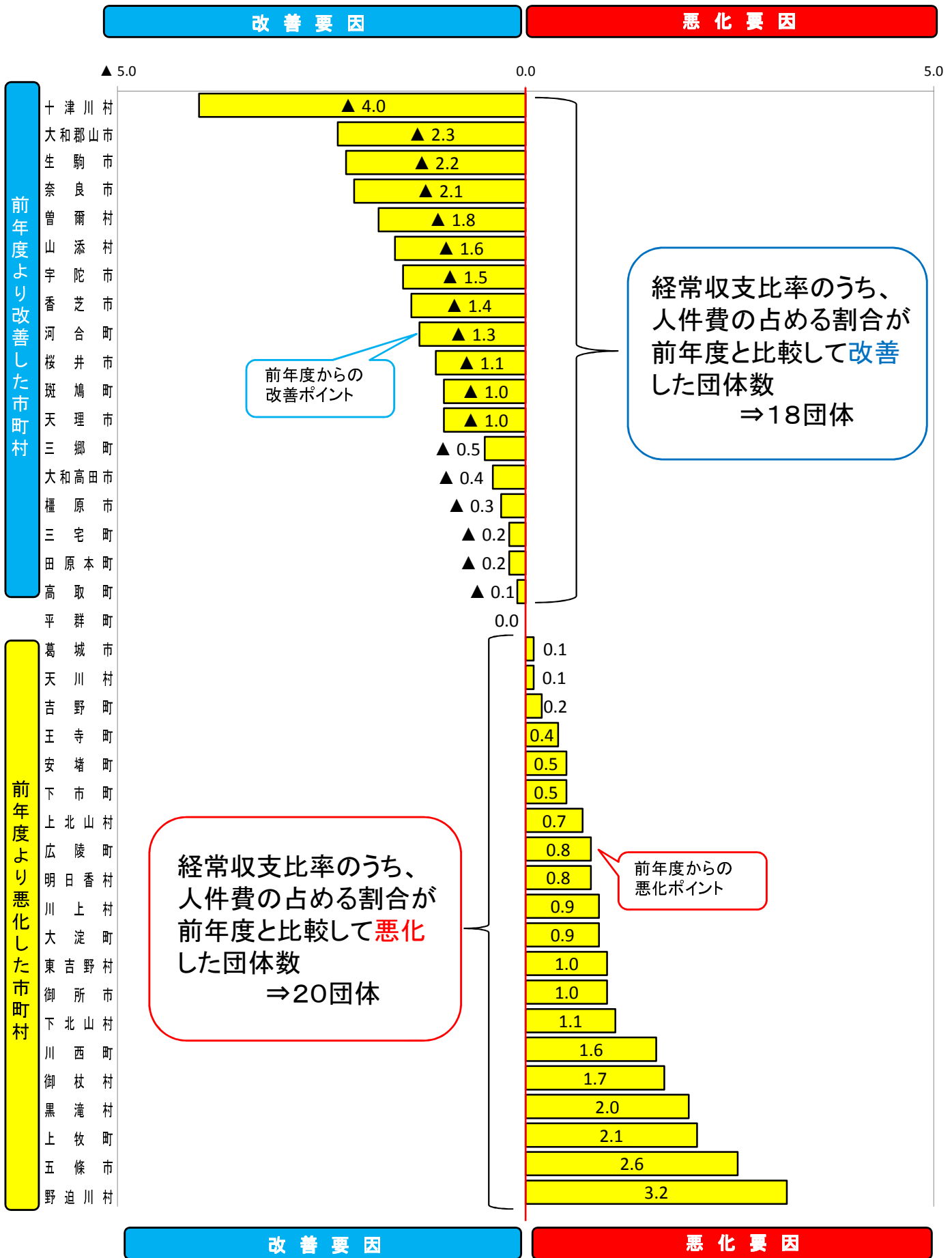
○平成25年度の経常収支比率に占める人件費の割合が高い団体は、明日香村、黒滝村、天理市などで、低い団体は広陵町、香芝市、王寺町など。
 ○平成25年度の経常収支比率に占める公債費が高い団体は、曾爾村、野迫川村、御杖村などで、低い団体は葛城市、大淀町、川西町など。



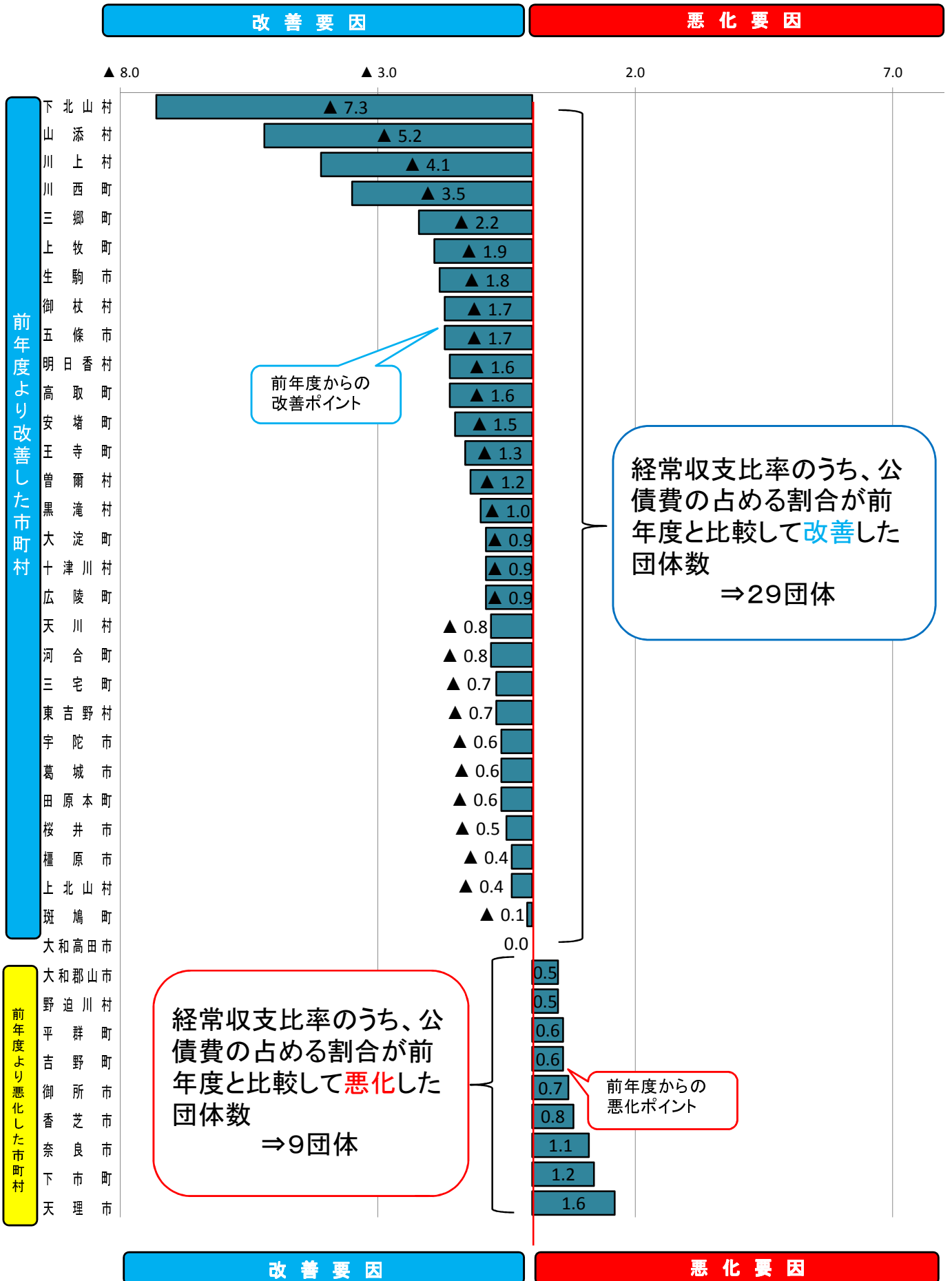
○経常収支比率が改善した市町村は、人件費や公債費の比率が前年度より低下傾向。
 ○経常収支比率が悪化した市町村は、人件費の比率が増加傾向。
 ○経常収支比率が改善した多くの市町村で人件費や公債費の比率が改善していることから、これら経費の削減が特に重要。



県内各市町村の経常収支比率のうち人件費にかかる対前年度増減ポイント

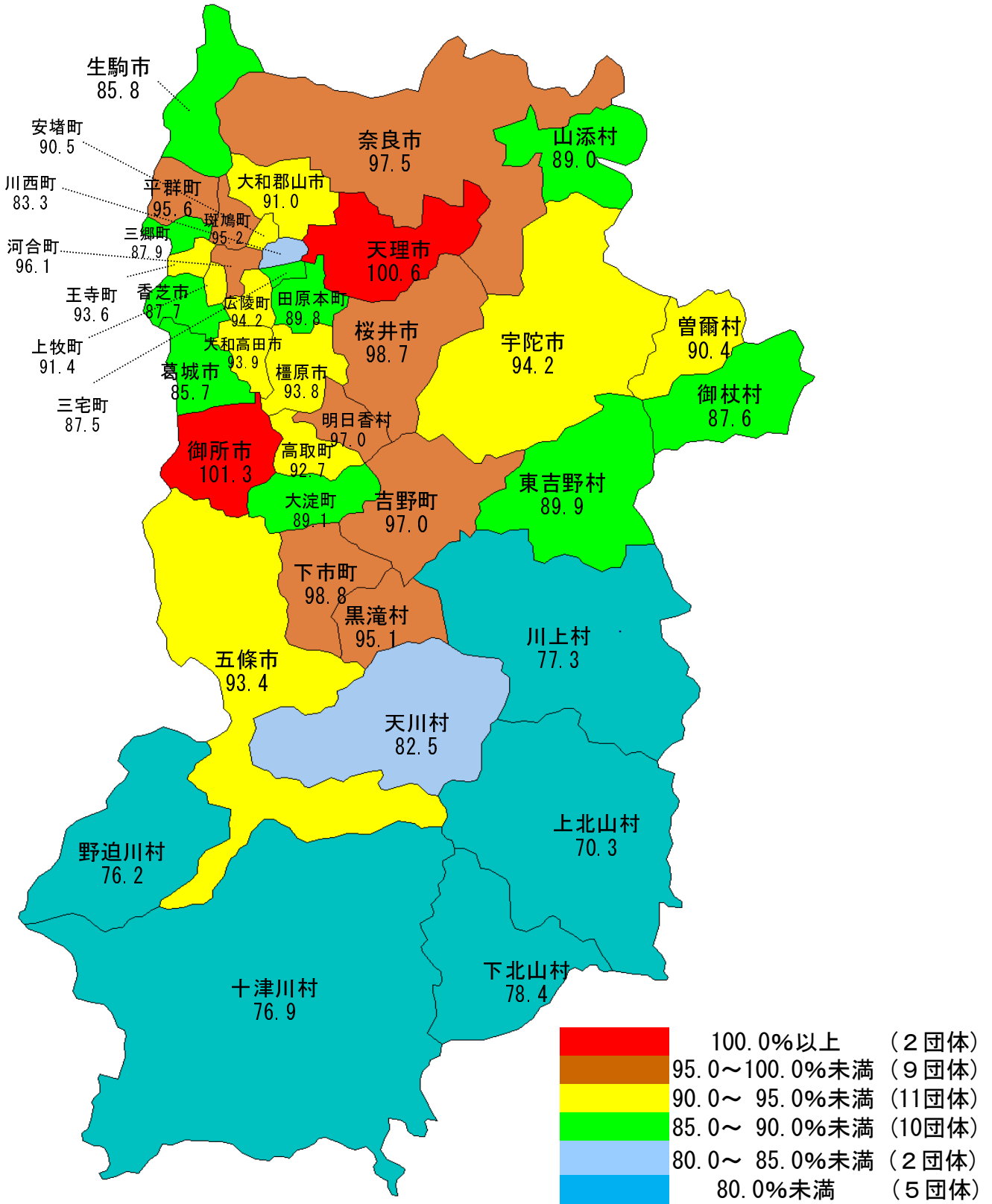


県内各市町村の経常収支比率のうち公債費にかかる対前年度増減ポイント



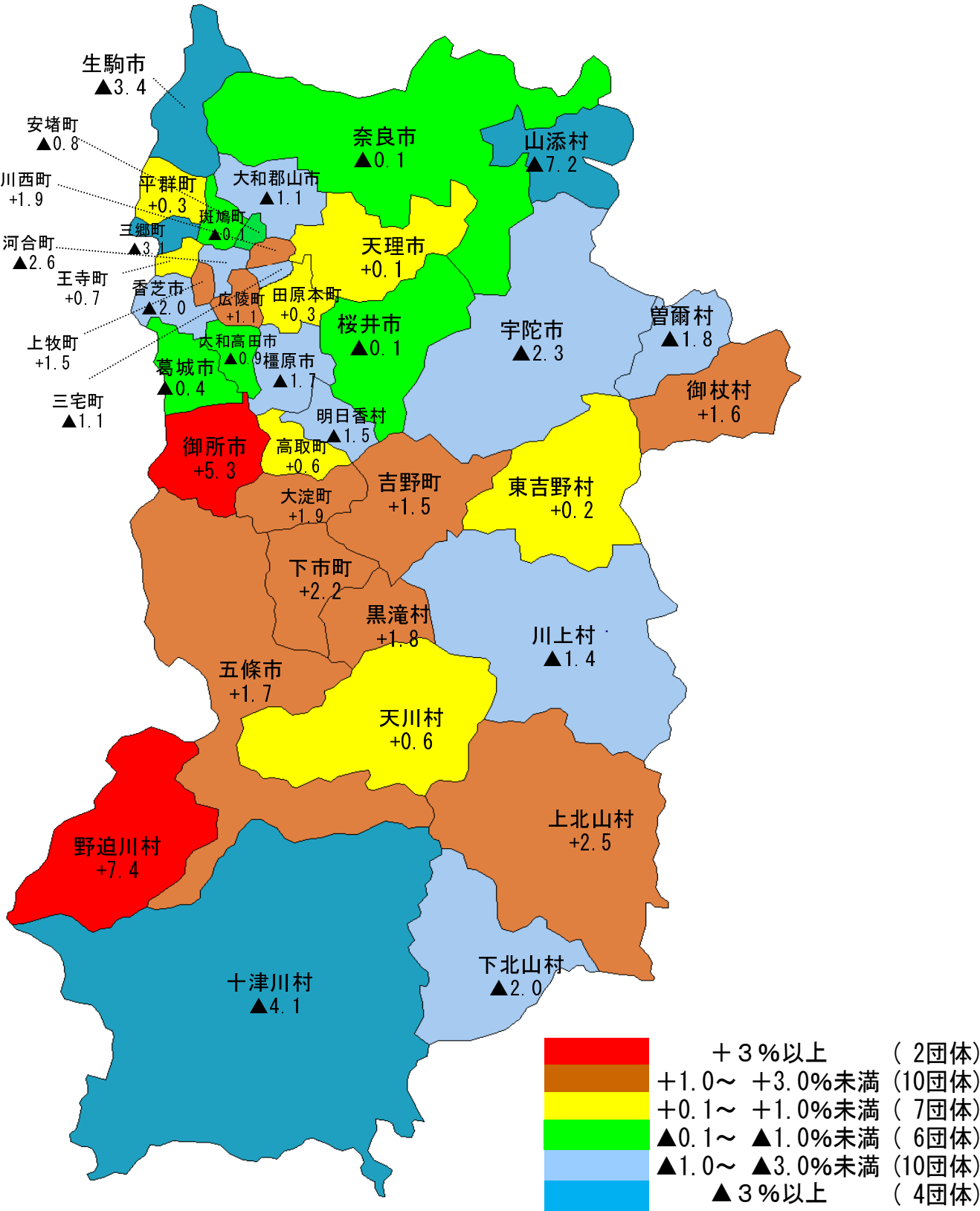
県内各市町村の経常収支比率の分布状況

○財政の硬直度が低い経常収支比率85%未満の団体は上北山村、野迫川村など7団体。このうち平野部は川西町のみで、残り6団体は南部地域。



県内各市町村の経常収支比率の分布状況（前年度比較）

○前年度と比較した改善状況に地域的に偏在性はなく、各団体それぞれの歳出削減に向けた努力が結実するもの。

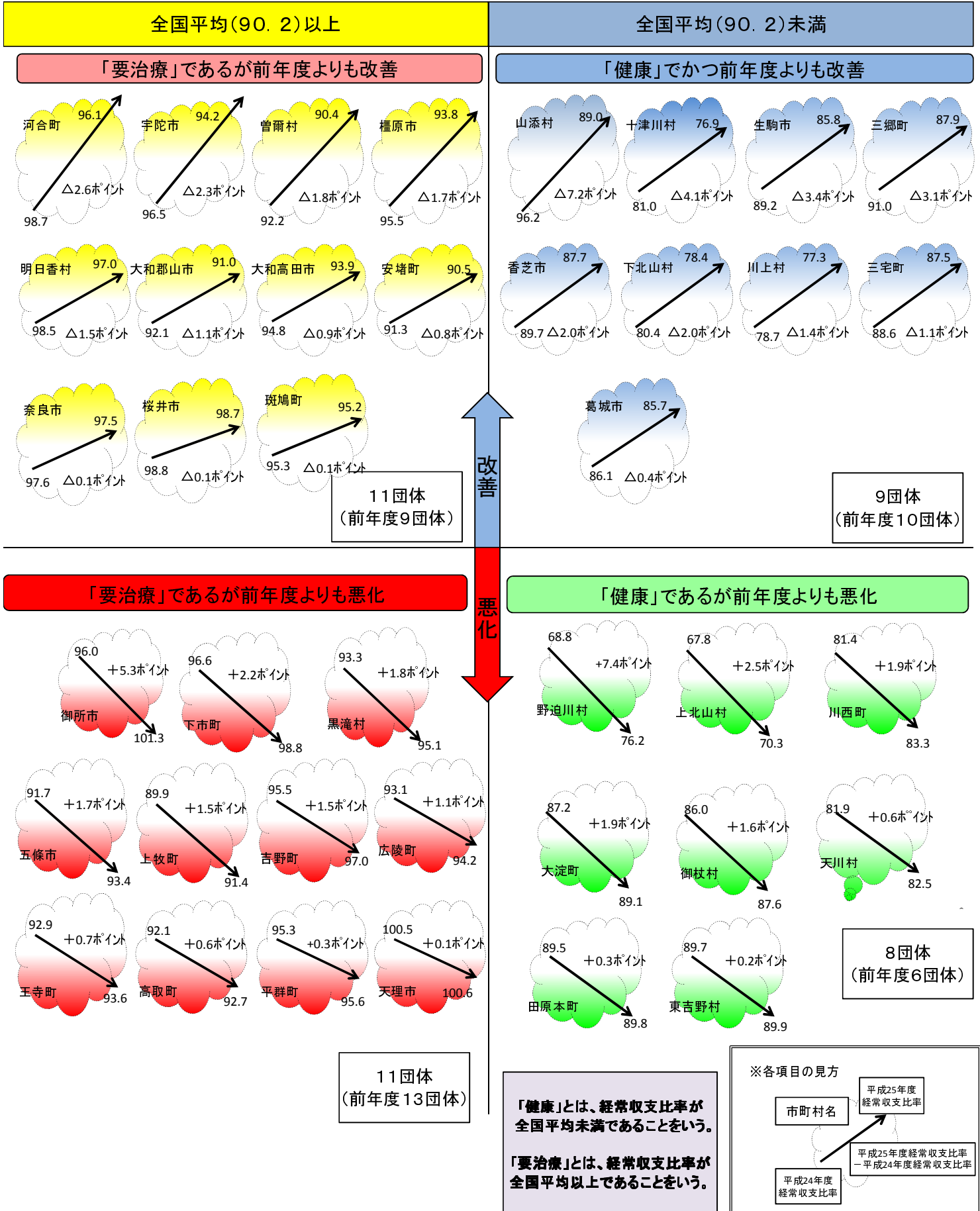


県内各市町村の経常収支比率の健康診断表 (全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分)

別紙7

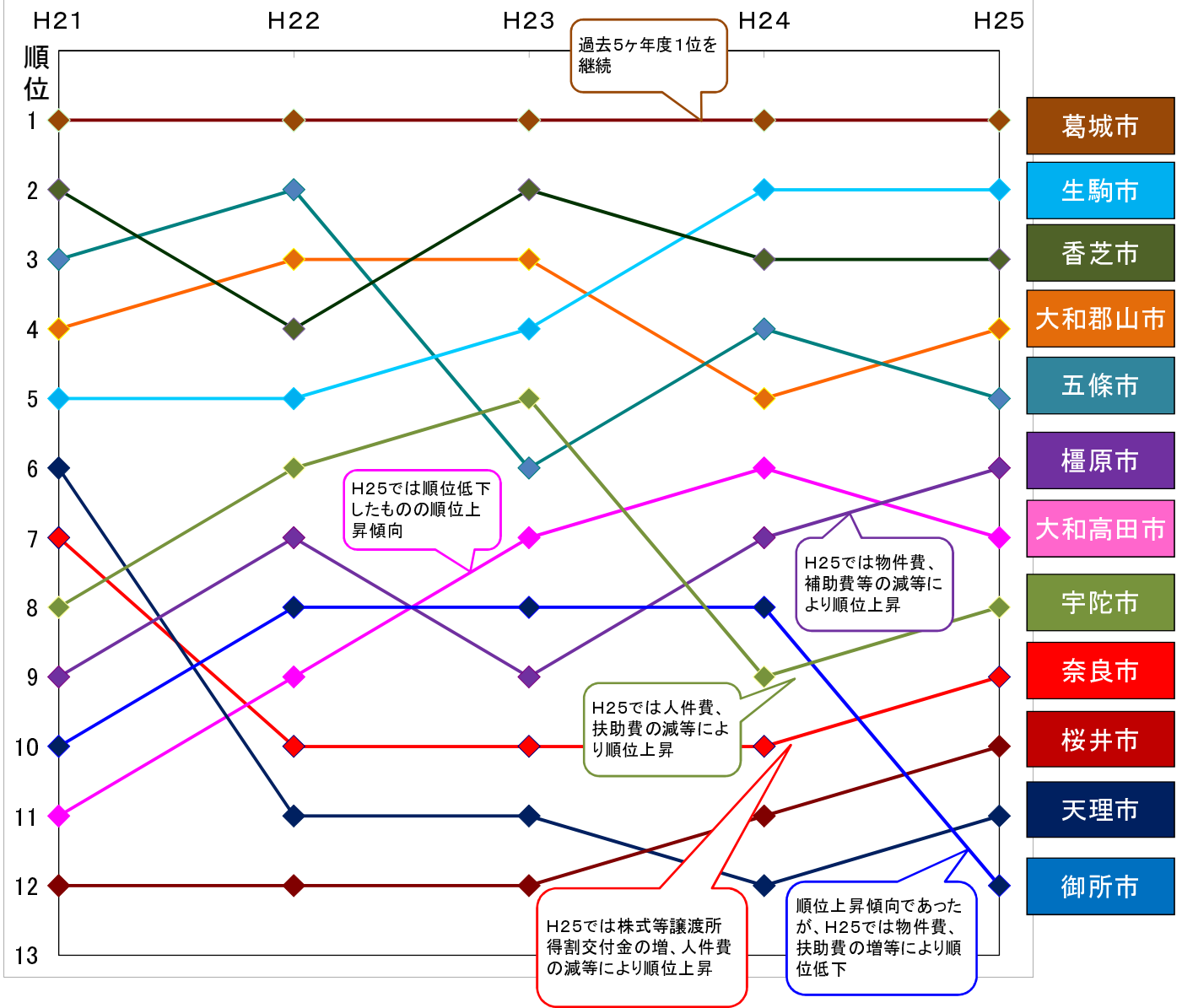
○県内各市町村の経常収支比率を全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。

○「要治療」領域に属する22団体のうち、宇陀市など11団体が前年度よりも改善し、御所市など11団体が前年度よりも悪化。「健康」領域に属する17団体のうち、山添村など9団体が前年度よりも改善し、野迫川村など8団体が悪化。



県内12市の経常収支比率順位の推移(過去5ヶ年度分)

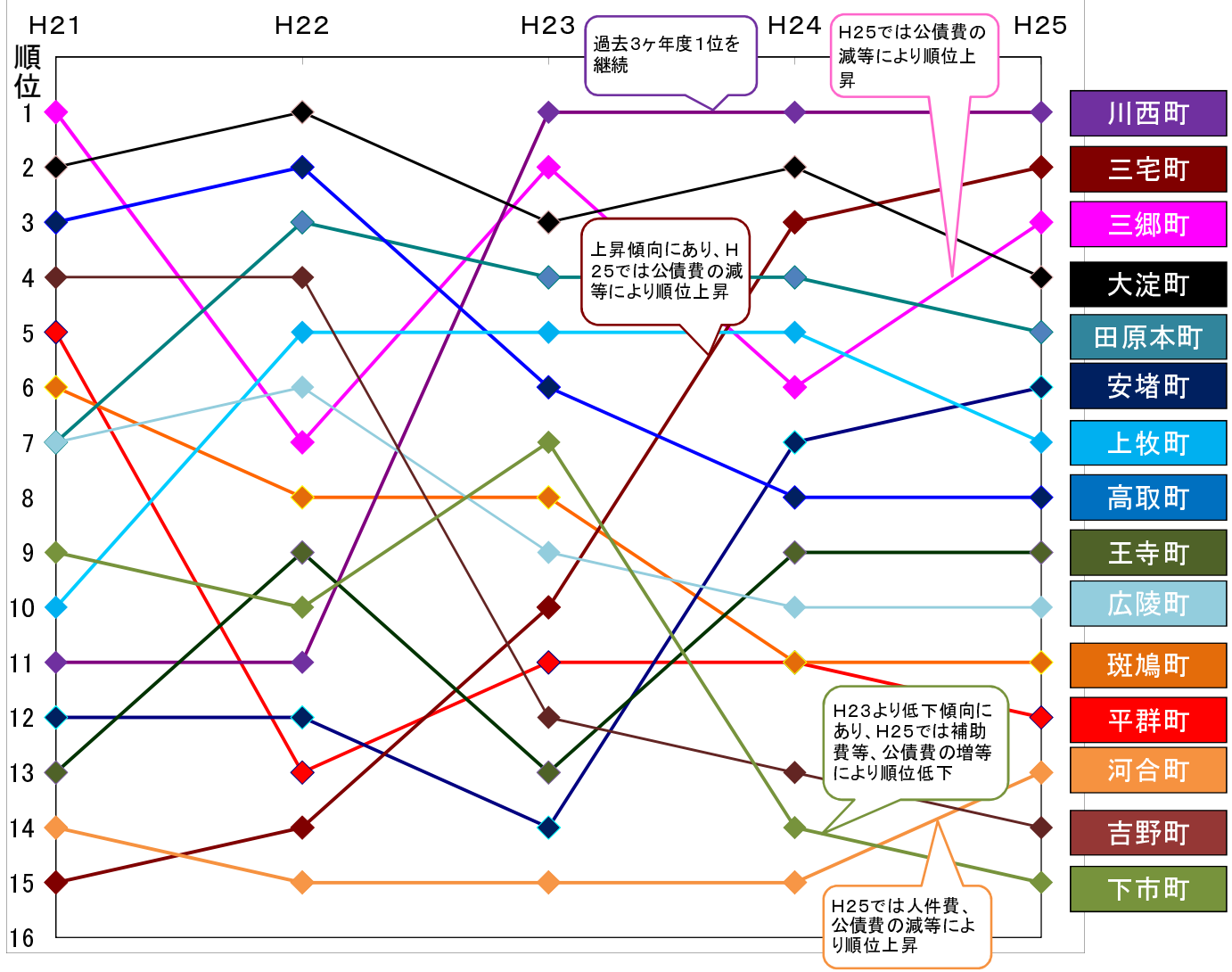
葛城市は1位を継続。大和高田市は平成25年度では低下したものの上昇傾向。御所市は上昇傾向であったが平成25年度は大きく順位が低下。



団体名	H21	順位	H22	順位	H23	順位	H24	順位	H25	順位
奈良市	98.8	7	95.8	10	98.9	10	97.6	10	97.5	9
大和高田市	101.2	11	95.2	9	95.1	7	94.8	6	93.9	7
大和郡山市	94.4	4	88.0	3	91.0	3	92.1	5	91.0	4
天理市	98.5	6	96.6	11	99.6	11	100.5	12	100.6	11
橿原市	99.6	9	94.3	7	96.1	9	95.5	7	93.8	6
桜井市	102.3	12	97.8	12	99.7	12	98.8	11	98.7	10
五條市	92.5	3	86.3	2	93.2	6	91.7	4	93.4	5
御所市	101.1	10	94.4	8	95.3	8	96.0	8	101.3	12
生駒市	95.5	5	90.2	5	92.4	4	89.2	2	85.8	2
香芝市	92.4	2	89.4	4	89.0	2	89.7	3	87.7	3
葛城市	87.3	1	82.6	1	82.2	1	86.1	1	85.7	1
宇陀市	99.5	8	94.2	6	92.8	5	96.5	9	94.2	8

県内15町の経常収支比率順位の推移(過去5ヶ年度分)

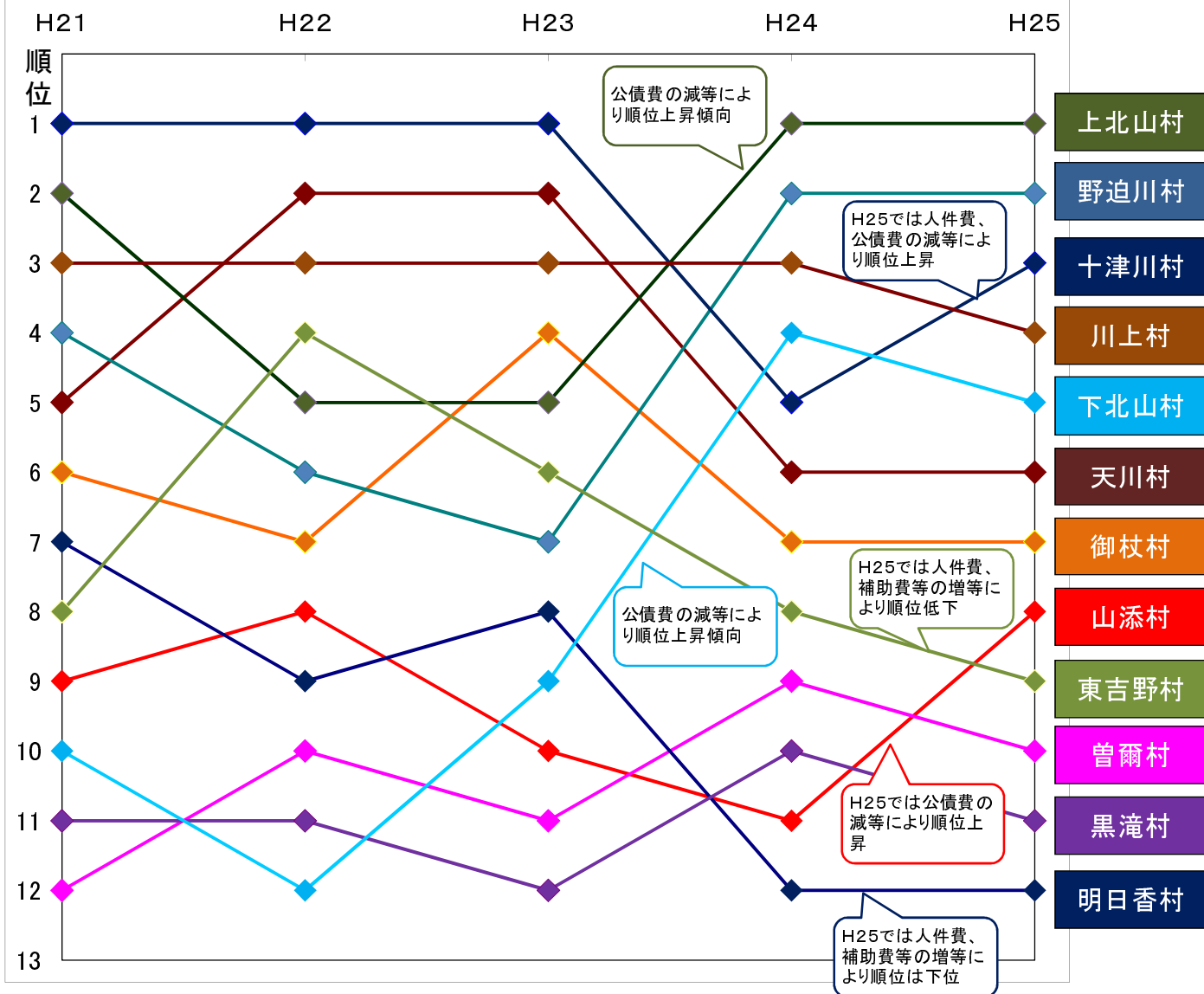
川西町が過去3ヶ年度1位。三宅町は過去5ヶ年度上昇傾向。下市町は平成23年度から低下傾向。



団体名	H21	順位	H22	順位	H23	順位	H24	順位	H25	順位
平群町	92.3	5	92.9	13	93.5	11	95.3	11	95.6	12
三郷町	87.3	1	90.9	7	87.3	2	91.0	6	87.9	3
斑鳩町	92.7	6	91.3	8	92.3	8	95.3	11	95.2	11
安堵町	98.7	12	92.8	12	94.7	14	91.3	7	90.5	6
川西町	97.9	11	92.1	11	86.9	1	81.4	1	83.3	1
三宅町	101.6	15	94.4	14	93.1	10	88.6	3	87.5	2
田原本町	94.0	7	87.9	3	88.6	4	89.5	4	89.8	5
高取町	91.1	3	86.3	2	89.6	6	92.1	8	92.7	8
上牧町	95.2	10	89.4	5	88.9	5	89.9	5	91.4	7
王寺町	99.0	13	91.5	9	94.4	13	92.9	9	93.6	9
広陵町	94.0	7	90.3	6	93.1	9	93.1	10	94.2	10
河合町	101.0	14	95.1	15	96.8	15	98.7	15	96.1	13
吉野町	92.0	4	88.8	4	93.8	12	95.5	13	97.0	14
大淀町	89.6	2	83.8	1	87.9	3	87.2	2	89.1	4
下市町	95.0	9	91.7	10	91.6	7	96.6	14	98.8	15

県内12村の経常収支比率順位の推移(過去5ヶ年度分)

上北山村、下北山村の上昇傾向が顕著。東吉野村は低下傾向。



団体名	H21	順位	H22	順位	H23	順位	H24	順位	H25	順位
山 添 村	95.4	9	89.9	8	92.5	10	96.2	11	89.0	8
曾 爾 村	100.1	12	92.0	10	93.6	11	92.2	9	90.4	10
御 杖 村	89.4	6	88.2	7	87.7	4	86.0	7	87.6	7
明日香村	92.3	7	91.3	9	90.6	8	98.5	12	97.0	12
黒 滝 村	98.9	11	92.4	11	99.3	12	93.3	10	95.1	11
天 川 村	87.7	5	84.9	2	84.9	2	81.9	6	82.5	6
野迫川村	87.5	4	87.5	6	89.4	7	68.8	2	76.2	2
十津川村	79.4	1	79.4	1	78.7	1	81.0	5	76.9	3
下北山村	96.3	10	94.0	12	91.7	9	80.4	4	78.4	5
上北山村	85.5	2	87.0	5	88.5	5	67.8	1	70.3	1
川 上 村	86.6	3	85.0	3	86.8	3	78.7	3	77.3	4
東吉野村	93.1	8	86.4	4	88.8	6	89.7	8	89.9	9

県内各市町村の市町村税徴収率にかかる現年課税分・滞納繰越分別徴収率の対前年マトリクス

別紙 9

○現年徴収率が前年度より改善した団体は37団体で、このうち滞繰徴収率が前年度より改善した団体は22団体、前年度より悪化した団体は15団体。
○現年徴収率が前年度より悪化した団体は2団体で、共に滞繰徴収率も前年度より悪化。

「現年」改善であるが「滞繰」が悪化

奈良市 92.2 → 92.7 (+ 0.5) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 98.4 → 98.6 19.7 → 16.8	天理市 91.8 → 92.1 (+ 0.3) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 98.4 → 98.4 20.5 → 18.2	桜井市 95.5 → 96.8 (+ 1.3) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 98.9 → 99.2 40.2 → 40.1
御所市 92.6 → 92.8 (+ 0.2) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 98.4 → 98.5 22.7 → 18.5	葛城市 93.2 → 93.3 (+ 0.1) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 98.6 → 98.7 19.0 → 18.9	三郷町 90.1 → 89.7 (▲ 0.4) 現年 ↓ 滞繰 ↓ 98.2 → 98.3 12.6 → 10.6
安堵町 91.5 → 91.5 (+ 0.0) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 98.2 → 98.4 23.4 → 18.8	川西町 96.0 → 96.2 (+ 0.2) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 99.2 → 99.3 24.3 → 21.5	田原本町 93.1 → 94.1 (+ 1.0) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 98.4 → 98.9 25.8 → 21.3
明日香村 97.3 → 97.1 (▲ 0.2) 現年 ↓ 滞繰 ↓ 99.2 → 99.3 13.5 → 12.1	広陵町 95.2 → 96.2 (+ 1.0) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 99.2 → 99.5 24.0 → 23.2	河合町 95.3 → 95.4 (+ 0.1) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 98.8 → 99.0 22.2 → 17.0
黒滝村 97.5 → 97.9 (+ 0.4) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 99.5 → 99.5 32.7 → 25.3	下北山村 98.4 → 98.1 (▲ 0.3) 現年 ↓ 滞繰 ↓ 99.4 → 99.5 19.1 → 5.3	川上村 95.8 → 95.8 (+ 0.0) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 98.6 → 99.1 26.4 → 13.2

「現年」改善でかつ「滞繰」も改善

大和高田市 91.4 → 91.9 (+ 0.5) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 97.6 → 98.1 22.5 → 23.3	大和郡山市 93.2 → 93.4 (+ 0.2) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 98.2 → 98.3 21.8 → 23.4	橿原市 93.2 → 93.7 (+ 0.5) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 98.6 → 98.8 17.0 → 17.8
五條市 92.9 → 94.1 (+ 1.2) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 98.4 → 98.7 24.4 → 24.8	生駒市 91.4 → 91.9 (+ 0.5) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 99.1 → 99.2 11.7 → 11.9	香芝市 93.1 → 93.7 (+ 0.6) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 98.4 → 98.5 21.2 → 24.2
宇陀市 91.1 → 91.8 (+ 0.7) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 98.0 → 98.2 23.0 → 23.2	山添村 98.2 → 98.1 (▲ 0.1) 現年 ↓ 滞繰 ↑ 99.3 → 99.3 20.5 → 29.6	平群町 96.8 → 97.4 (+ 0.6) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 99.2 → 99.2 28.8 → 34.5
斑鳩町 95.6 → 96.0 (+ 0.4) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 98.6 → 98.7 26.3 → 32.3	三宅町 98.0 → 98.6 (+ 0.6) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 99.4 → 99.4 58.4 → 59.7	御杖村 93.2 → 94.7 (+ 1.5) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 98.2 → 98.7 27.8 → 30.4
高取町 94.1 → 95.0 (+ 0.9) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 98.5 → 99.0 18.3 → 29.1	王寺町 98.5 → 98.8 (+ 0.3) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 99.7 → 99.7 18.8 → 21.7	吉野町 94.0 → 94.9 (+ 0.9) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 98.5 → 99.1 26.3 → 26.7
大淀町 92.0 → 92.6 (+ 0.6) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 98.5 → 98.7 18.3 → 19.0	下市町 88.8 → 90.9 (+ 2.1) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 98.1 → 98.9 9.2 → 19.0	天川村 91.9 → 94.0 (+ 2.1) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 98.2 → 99.0 17.8 → 32.3
野迫川村 92.2 → 92.2 (+ 0.0) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 97.4 → 97.9 11.9 → 14.7	十津川村 94.2 → 94.5 (+ 0.3) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 99.0 → 99.3 6.5 → 10.3	上北山村 98.1 → 98.1 (+ 0.0) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 99.6 → 99.7 14.7 → 15.2
		東吉野村 94.9 → 96.2 (+ 1.3) 現年 ↑ 滞繰 ↑ 99.3 → 99.5 30.6 → 32.8

「改善」とは、税徴収率が前年度以上であることをいう。

「悪化」とは、税徴収率が前年度未満であることをいう。

【記号の説明】

上昇	↑
うち+2%超	↑↑
下降	↓
うち▲2%超	↓↓

15団体
(前年度15団体)

22団体
(前年度20団体)

悪化

改善

「現年」悪化でかつ「滞繰」も悪化

曾爾村 92.9 → 93.2 (+ 0.3) 現年 ↑ 滞繰 ↓ 99.0 → 98.6 13.4 → 9.7	上牧町 91.5 → 90.8 (▲ 0.7) 現年 ↓ 滞繰 ↓ 98.1 → 97.2 18.0 → 13.2
---	--

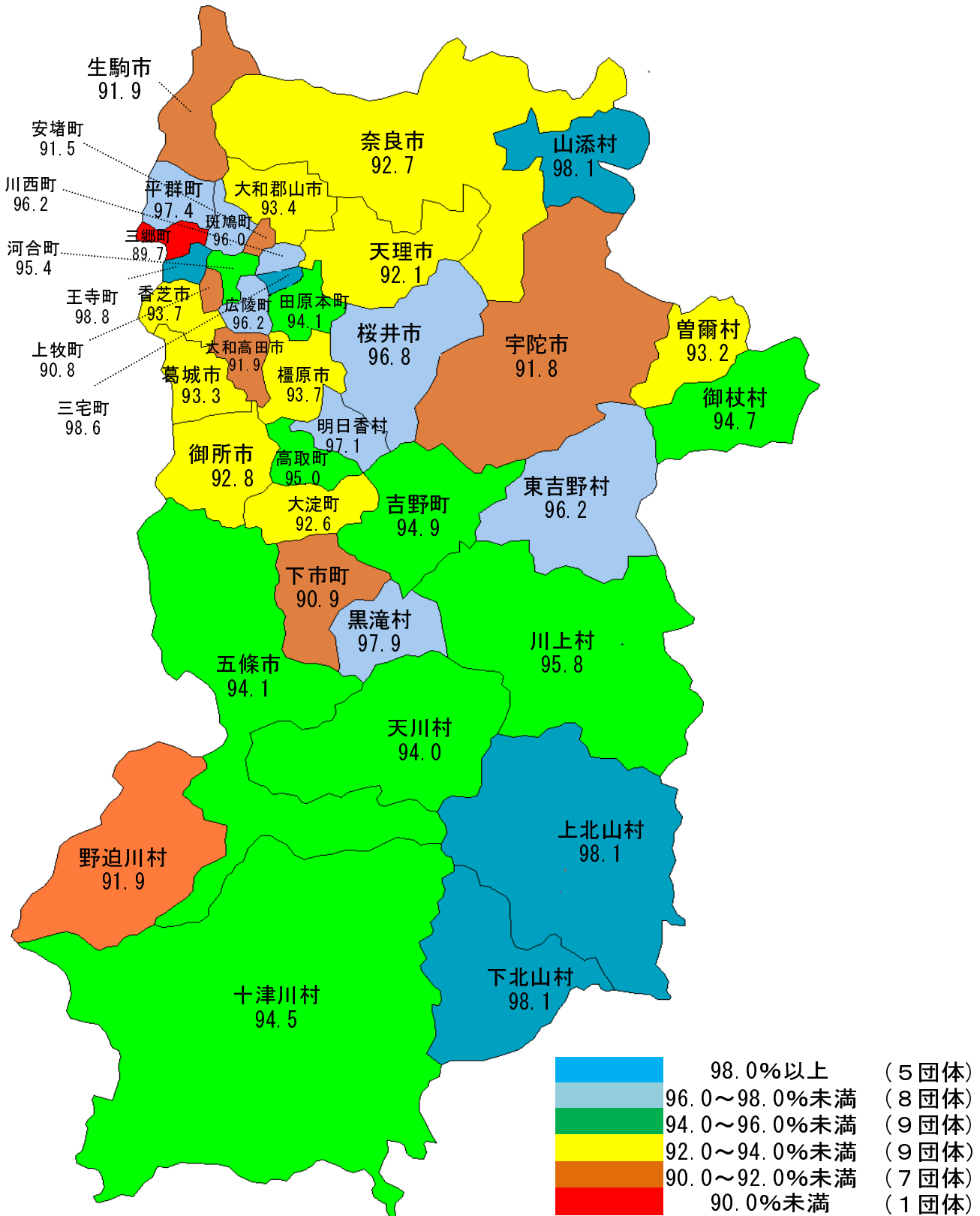
2団体
(前年度2団体)

「現年」悪化であるが「滞繰」が改善

なし
(前年度2団体)

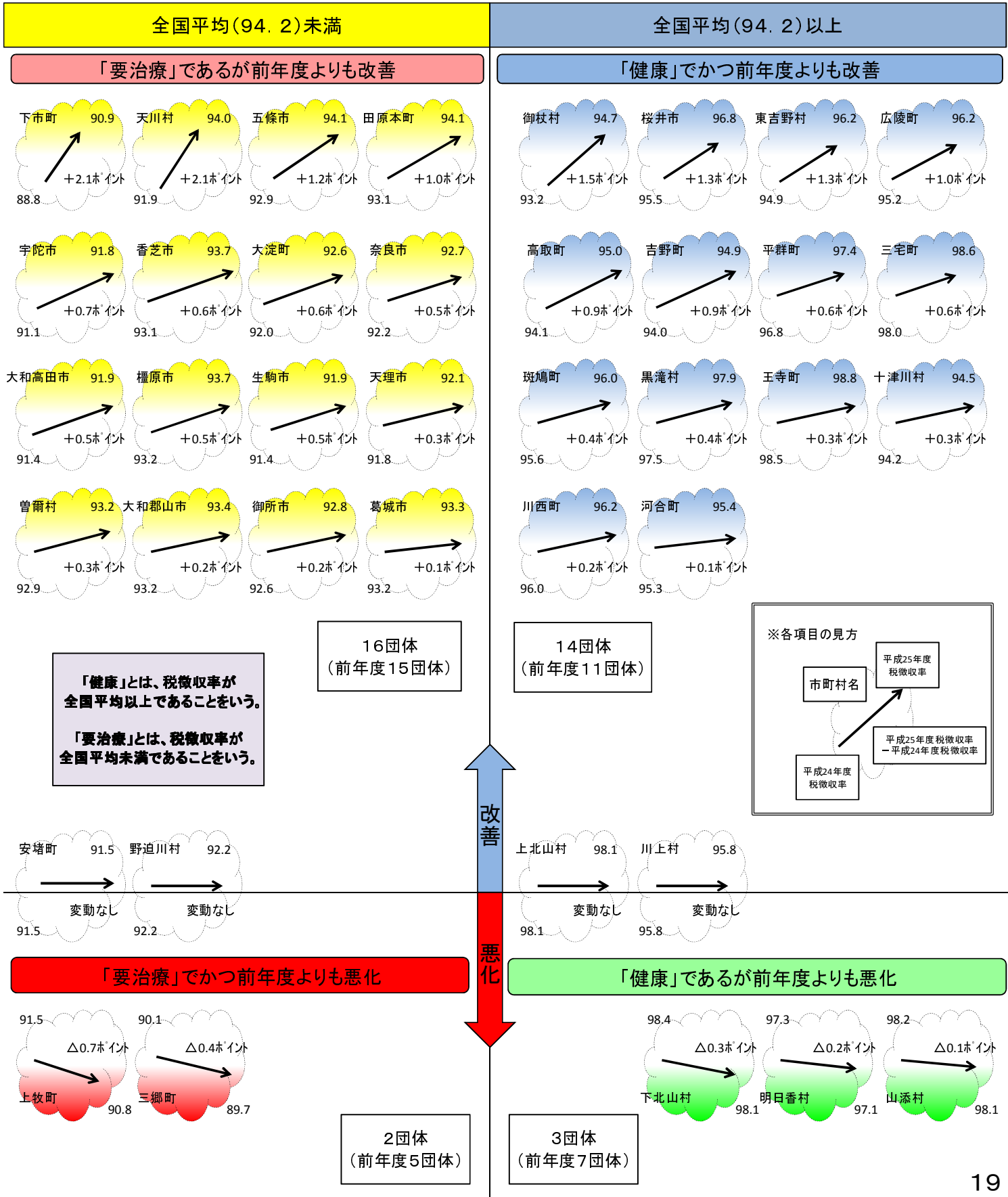
県内各市町村の市町村税徴収率の分布状況

○徴収率分布地図で整理すると、南部地域の徴収率に良い傾向が見受けられる。



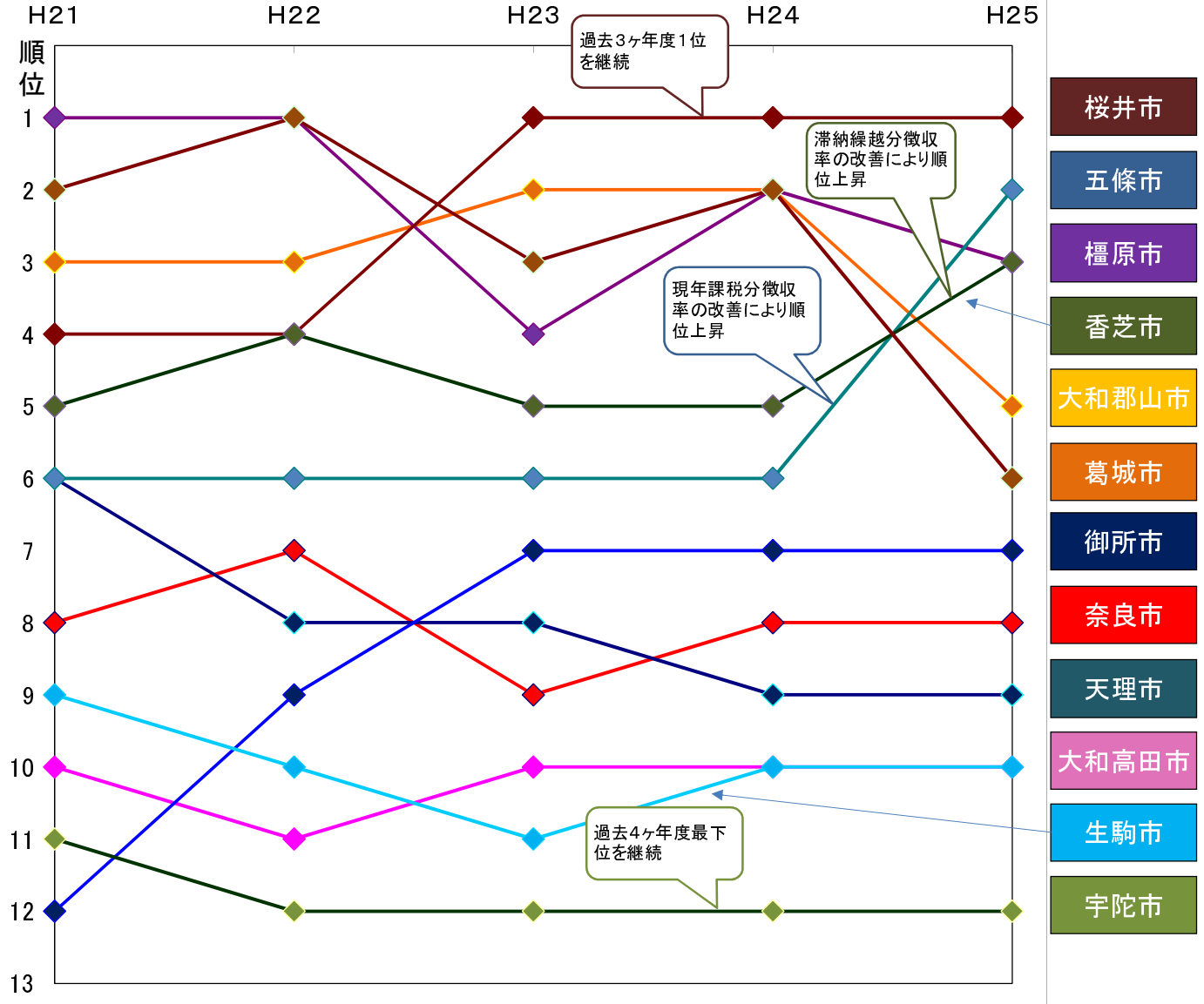
県内各市町村の市町村税徴収率の健康診断表 (全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分)

○税徴収率が全国平均以上(「健康」である)の団体は19団体で、このうち14団体が前年度よりも改善し、3団体が前年度よりも悪化。(2団体は変動なし。)
 ○税徴収率が全国平均未満(「要治療」である)の団体は20団体で、このうち16団体が前年度よりも改善し、2団体が悪化。(2団体は変動なし。)



県内12市の市町村税徴収率順位の推移(過去5ヶ年度分)

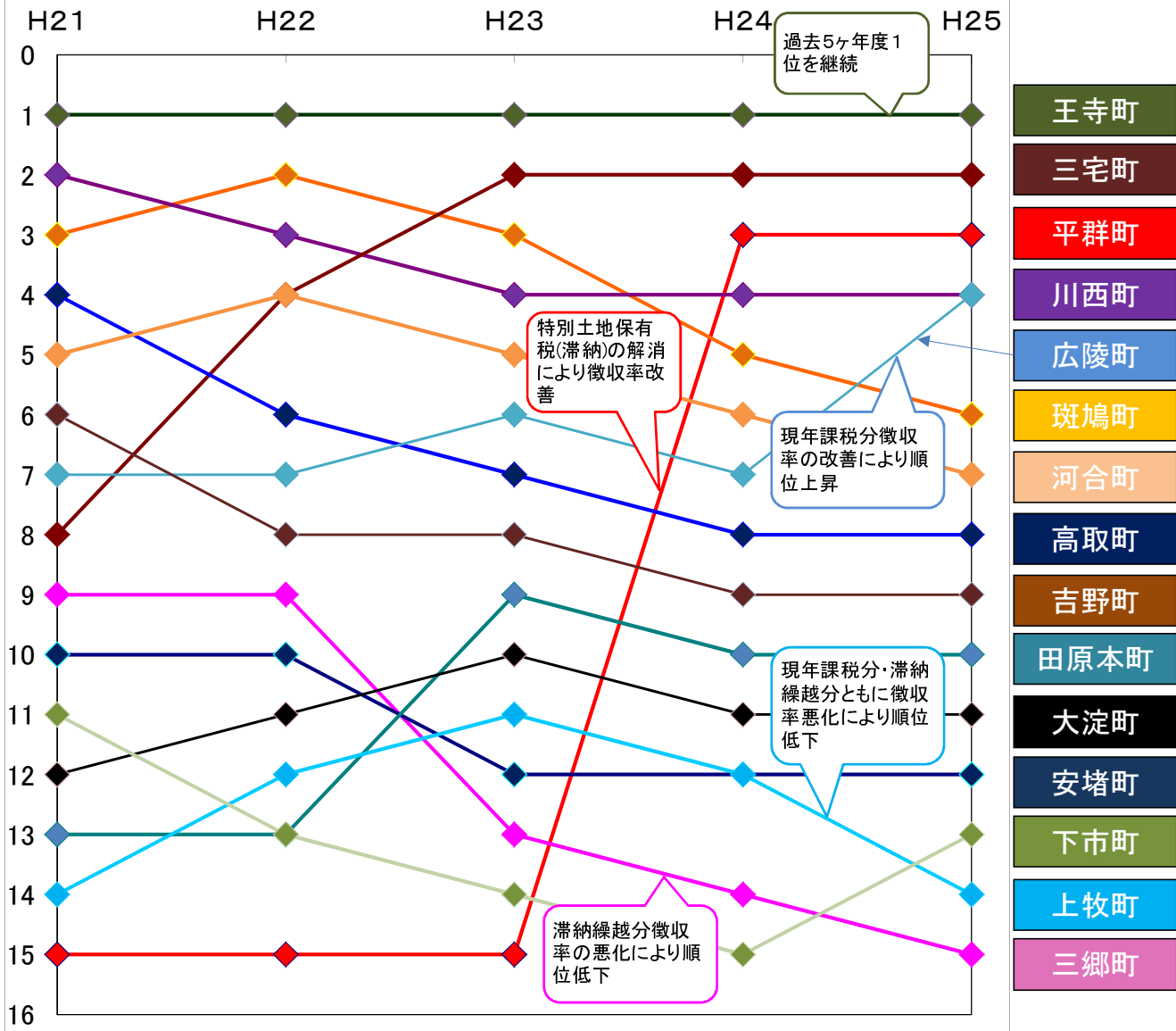
桜井市が過去3ヶ年度1位。宇陀市が過去4ヶ年度最下位。五條市の上昇傾向が顕著。



団体名	H21	順位	H22	順位	H23	順位	H24	順位	H25	順位
奈良市	90.9	8	90.9	7	91.3	9	92.2	8	92.7	8
大和高田市	88.9	10	89.9	11	91.2	10	91.4	10	91.9	10
大和郡山市	92.1	3	92.7	3	93.3	2	93.2	2	93.4	5
天理市	91.3	6	90.8	8	91.4	8	91.8	9	92.1	9
橿原市	93.0	1	92.9	1	93.0	4	93.2	2	93.7	3
桜井市	91.7	4	92.0	4	94.0	1	95.5	1	96.8	1
五條市	91.3	6	91.0	6	92.3	6	92.9	6	94.1	2
御所市	85.6	12	90.5	9	91.6	7	92.6	7	92.8	7
生駒市	89.8	9	90.1	10	90.7	11	91.4	10	91.9	10
香芝市	91.6	5	92.0	4	92.7	5	93.1	5	93.7	3
葛城市	92.3	2	92.9	1	93.2	3	93.2	2	93.3	6
宇陀市	88.0	11	88.6	12	90.2	12	91.1	12	91.8	12

県内15町の市町村税徴収率順位の推移(過去5ヶ年度分)

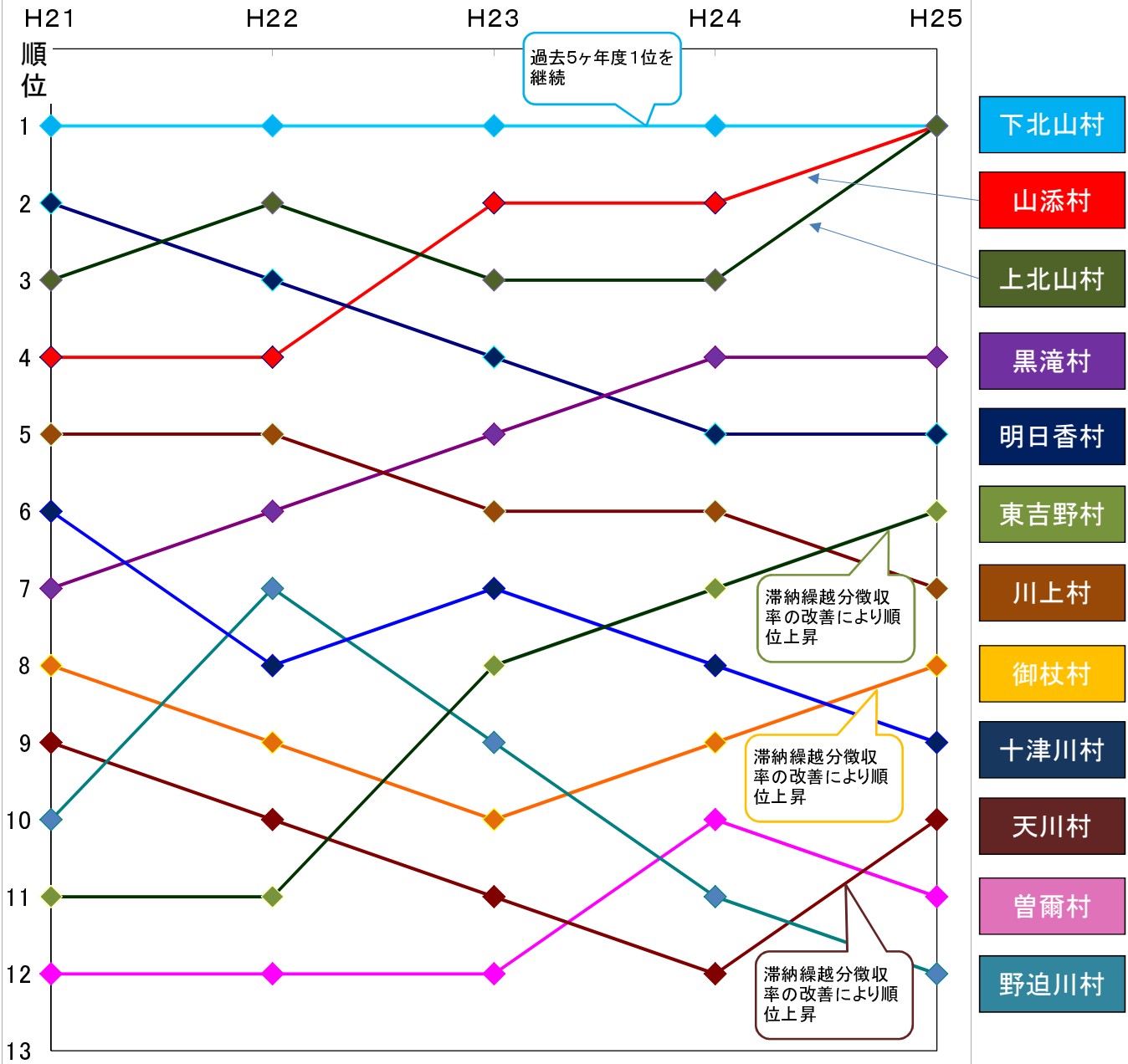
王寺町が過去5ヶ年度1位。広陵町の上昇傾向が顕著。三郷町、上牧町が低下傾向。



団体名	H21	順位	H22	順位	H23	順位	H24	順位	H25	順位
平群町	84.9	15	85.6	15	86.0	15	96.8	3	97.4	3
三郷町	92.0	9	91.1	9	90.4	13	90.1	14	89.7	15
斑鳩町	95.3	3	95.5	2	95.5	3	95.6	5	96.0	6
安堵町	91.6	10	91.0	10	90.6	12	91.5	12	91.5	12
川西町	95.5	2	94.9	3	95.3	4	96.0	4	96.2	4
三宅町	93.2	8	94.3	4	96.5	2	98.0	2	98.6	2
田原本町	90.2	13	90.2	13	92.1	9	93.1	10	94.1	10
高取町	94.9	4	94.2	6	94.2	7	94.1	8	95.0	8
上牧町	89.8	14	90.7	12	90.9	11	91.5	12	90.8	14
王寺町	98.1	1	98.1	1	98.4	1	98.5	1	98.8	1
広陵町	93.3	7	93.7	7	94.6	6	95.2	7	96.2	4
河合町	93.9	5	94.3	4	95.2	5	95.3	6	95.4	7
吉野町	93.5	6	92.7	8	93.6	8	94.0	9	94.9	9
大淀町	90.6	12	90.8	11	91.0	10	92.0	11	92.6	11
下市町	91.0	11	90.2	13	89.5	14	88.8	15	90.9	13

県内12村の市町村税徴収率順位の推移(過去5ヶ年度分)

下北山村が過去5ヶ年度1位。御杖村、天川村、東吉野村の上昇傾向が顕著。



団体名	H21	順位	H22	順位	H23	順位	H24	順位	H25	順位
山添村	97.3	4	97.8	4	98.4	2	98.2	2	98.1	1
曾爾村	88.0	12	89.6	12	92.0	12	92.9	10	93.2	11
御杖村	93.2	8	93.1	9	92.5	10	93.2	9	94.7	8
明日香村	98.8	2	98.2	3	97.8	4	97.3	5	97.1	5
黒滝村	95.9	7	96.3	6	96.8	5	97.5	4	97.9	4
天川村	92.9	9	93.0	10	92.3	11	91.9	12	94.0	10
野迫川村	90.8	10	95.9	7	93.4	9	92.2	11	92.2	12
十津川村	96.1	6	95.6	8	95.0	7	94.2	8	94.5	9
下北山村	99.3	1	99.1	1	98.8	1	98.4	1	98.1	1
上北山村	98.5	3	98.7	2	98.3	3	98.1	3	98.1	1
川上村	96.5	5	96.5	5	96.1	6	95.8	6	95.8	7
東吉野村	89.3	11	91.2	11	93.6	8	94.9	7	96.2	6